

0001    視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩   |   難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「球結膜は強膜前面を被覆し、角膜輪部で角膜上皮へ移行する。」

ア．涙液排出路を順序立てて説明  
イ．角膜と結膜の位置関係  
ウ．眼窩を構成する骨を識別  
エ．毛様体突起の機能

0002    視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩   |   難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「後房は虹彩後方にある狭い空間で、房水が瞳孔を通過して前房へ流れる。」

ア．涙液排出路を順序立てて説明  
イ．眼窩を構成する骨を識別  
ウ．前房と後房の位置  
エ．眼瞼板の役割

答え・解説    正答：イ

ア：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「角膜と結膜の位置関係」の要点を示している。球結膜は強膜前面を被覆し、角膜輪部で角膜上皮へ移行する。  
ウ：「眼窩を構成する骨を識別」は別の論点である。主な要点は「眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「毛様体突起の機能」は別の論点である。主な要点は「毛様体突起を覆う毛様体上皮は房水分泌の主要部位である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説    正答：ウ

ア：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「眼窩を構成する骨を識別」は別の論点である。主な要点は「眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「前房と後房の位置」の要点を示している。後房は虹彩後方にある狭い空間で、房水が瞳孔を通過して前房へ流れる。  
エ：「眼瞼板の役割」は別の論点である。主な要点は「眼瞼板は密な結合組織からなり、眼瞼に機械的的支持を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0003    視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩   |   難易度：標準

「眼球・眼付属器・眼窩」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「毛様小帯は毛様体と水晶体嚢を連結し、張力変化を水晶体へ伝える。」

ア．眼窩を構成する骨を識別  
イ．眼窩隔膜の役割  
ウ．眼瞼板の役割  
エ．水晶体支持装置

0004    視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩   |   難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「涙点 → 涙小管 → 涙嚢 → 鼻涙管。涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」

ア．角膜と結膜の位置関係  
イ．涙液排出路を順序立てて説明  
ウ．前房と後房の位置  
エ．眼窩隔膜の役割

答え・解説    正答：エ

ア：「眼窩を構成する骨を識別」は別の論点である。主要点は「眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「眼窩隔膜の役割」は別の論点である。主要点は「眼窩隔膜は眼窩縁から眼瞼へ連続する結合組織性隔壁である。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「眼瞼板の役割」は別の論点である。主要点は「眼瞼板は密な結合組織からなり、眼瞼に機械的支持を与える。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「水晶体支持装置」の要点を示している。毛様小帯は毛様体と水晶体嚢を連結し、張力変化を水晶体へ伝える。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説    正答：イ

ア：「角膜と結膜の位置関係」は別の論点である。主要点は「球結膜は強膜前面を被覆し、角膜輪部で角膜上皮へ移行する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「涙液排出路を順序立てて説明」の要点を示している。涙点 → 涙小管 → 涙嚢 → 鼻涙管。涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。  
ウ：「前房と後房の位置」は別の論点である。主要点は「後房は虹彩後方にある狭い空間で、房水が瞳孔を通して前房へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「眼窩隔膜の役割」は別の論点である。主要点は「眼窩隔膜は眼窩縁から眼瞼へ連続する結合組織性隔壁である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0005

視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「主涙腺は眼窩の前上外側、前頭骨涙腺窩付近に位置する。」

ア．眼窩を構成する骨を識別

イ．主涙腺の位置

ウ．涙液排出路を順序立てて説明

エ．毛様体突起の機能

0006

視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。」

ア．角膜と結膜の位置関係

イ．前房と後房の位置

ウ．眼窩を構成する骨を識別

エ．水晶体支持装置

答え・解説

正答：イ

ア：「眼窩を構成する骨を識別」は別の論点である。主な要点は「眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「主涙腺の位置」の要点を示している。主涙腺は眼窩の前上外側、前頭骨涙腺窩付近に位置する。

ウ：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「毛様体突起の機能」は別の論点である。主な要点は「毛様体突起を覆う毛様体上皮は房水分泌の主要部位である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「角膜と結膜の位置関係」は別の論点である。主な要点は「球結膜は強膜前面を被覆し、角膜輪部で角膜上皮へ移行する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「前房と後房の位置」は別の論点である。主な要点は「後房は虹彩後方にある狭い空間で、房水が瞳孔を通して前房へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「眼窩を構成する骨を識別」の要点を示している。眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。

エ：「水晶体支持装置」は別の論点である。主な要点は「毛様小帯は毛様体と水晶体嚢を連結し、張力変化を水晶体へ伝える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0007

視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「眼窩隔膜は眼窩縁から眼瞼へ連続する結合組織性隔壁である。」

ア．水晶体支持装置

イ．涙液排出路を順序立てて説明

ウ．毛様体突起の機能

エ．眼窩隔膜の役割

答え・解説

正答：エ

ア：「水晶体支持装置」は別の論点である。主な要点は「毛様小帯は毛様体と水晶体嚢を連結し、張力変化を水晶体へ伝える。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「毛様体突起の機能」は別の論点である。主な要点は「毛様体突起を覆う毛様体上皮は房水分泌の主要部位である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼窩隔膜の役割」の要点を示している。眼窩隔膜は眼窩縁から眼瞼へ連続する結合組織性隔壁である。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0008

視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。  
「眼瞼板は密な結合組織からなり、眼瞼に機械的支持を与える。」

ア．眼瞼板の役割

イ．水晶体支持装置

ウ．涙液排出路を順序立てて説明

エ．眼窩を構成する骨を識別

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「眼瞼板の役割」の要点を示している。眼瞼板は密な結合組織からなり、眼瞼に機械的支持を与える。

イ：「水晶体支持装置」は別の論点である。主な要点は「毛様小帯は毛様体と水晶体嚢を連結し、張力変化を水晶体へ伝える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「眼窩を構成する骨を識別」は別の論点である。主な要点は「眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0009    視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「硝子体は水晶体後方の大部分を占め、後方では網膜内面に接する。」

ア．涙液排出路を順序立てて説明  
イ．眼窩を構成する骨を識別  
ウ．眼窩脂肪の役割  
エ．硝子体の位置

答え・解説    正答：エ

ア：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「眼窩を構成する骨を識別」は別の論点である。主な要点は「眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「眼窩脂肪の役割」は別の論点である。主な要点は「眼窩脂肪は眼球や筋・神経血管を取り囲み、クッションとして保護と可動性に寄与する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「硝子体の位置」の要点を示している。硝子体は水晶体後方の大部分を占め、後方では網膜内面に接する。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0010    視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「毛様体突起を覆う毛様体上皮は房水分泌の主要部位である。」

ア．涙液排出路を順序立てて説明  
イ．眼窩を構成する骨を識別  
ウ．毛様体突起の機能  
エ．角膜と結膜の位置関係

答え・解説    正答：ウ

ア：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「眼窩を構成する骨を識別」は別の論点である。主な要点は「眼窩は前頭骨、蝶形骨、上顎骨、頬骨、口蓋骨、篩骨、涙骨の7骨で構成される。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「毛様体突起の機能」の要点を示している。毛様体突起を覆う毛様体上皮は房水分泌の主要部位である。  
エ：「角膜と結膜の位置関係」は別の論点である。主な要点は「球結膜は強膜前面を被覆し、角膜輪部で角膜上皮へ移行する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0011

視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩 | 難易度：基礎

「眼球・眼付属器・眼窩」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「眼窩脂肪は眼球や筋・神経血管を取り囲み、クッションとして保護と可動性に寄与する。」

ア．眼窩脂肪の役割  
イ．水晶体支持装置  
ウ．涙液排出路を順序立てて説明  
エ．角膜と結膜の位置関係

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「眼窩脂肪の役割」の要点を示している。眼窩脂肪は眼球や筋・神経血管を取り囲み、クッションとして保護と可動性に寄与する。  
イ：「水晶体支持装置」は別の論点である。主な要点は「毛様小帯は毛様体と水晶体嚢を連結し、張力変化を水晶体へ伝える。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「角膜と結膜の位置関係」は別の論点である。主な要点は「球結膜は強膜前面を被覆し、角膜輪部で角膜上皮へ移行する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0012

視器の構造 > 眼球・眼付属器・眼窩 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「外膜：角膜・強膜／中膜：虹彩・毛様体・脈絡膜／内膜：網膜。眼球壁は外側の線維膜、中間のぶどう膜、内側の網膜で整理できる。」

ア．涙液排出路を順序立てて説明  
イ．水晶体支持装置  
ウ．眼球壁の層構造  
エ．毛様体突起の機能

答え・解説

正答：ウ

ア：「涙液排出路を順序立てて説明」は別の論点である。主な要点は「涙液は涙点から涙小管、涙嚢を経て鼻涙管へ流れる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「水晶体支持装置」は別の論点である。主な要点は「毛様小帯は毛様体と水晶体嚢を連結し、張力変化を水晶体へ伝える。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「眼球壁の層構造」の要点を示している。外膜：角膜・強膜／中膜：虹彩・毛様体・脈絡膜／内膜：網膜。眼球壁は外側の線維膜、中間のぶどう膜、内側の網膜で整理できる。  
エ：「毛様体突起の機能」は別の論点である。主な要点は「毛様体突起を覆う毛様体上皮は房水分泌の主要部位である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球・眼付属器・眼窩」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0013    視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「網膜神経節細胞の軸索が視神経乳頭で集合して視神経を形成する。」

ア．視索が担う視野情報  
イ．外側膝状体の役割  
ウ．視神経の構成  
エ．視野障害から局在

答え・解説    正答：ウ

ア：「視索が担う視野情報」は別の論点である。主な要点は「左視索には両眼の右半視野情報が集約される。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「視神経の構成」の要点を示している。網膜神経節細胞の軸索が視神経乳頭で集合して視神経を形成する。  
エ：「視野障害から局在」は別の論点である。主な要点は「両耳側半盲は視交叉中央部で交叉する両眼鼻側網膜線維の障害で典型的にみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0014    視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「鼻側網膜由来の軸索は視交叉で反対側へ交叉し、耳側網膜線維は同側を進む。」

ア．外側膝状体の役割  
イ．対光反射経路と視覚認知経路  
ウ．視交叉で交叉する線維  
エ．一次視覚野の血流支配を概説

答え・解説    正答：ウ

ア：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「対光反射経路と視覚認知経路」は別の論点である。主な要点は「対光反射線維は主要視覚路から分岐して中脳視蓋前域へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「視交叉で交叉する線維」の要点を示している。鼻側網膜由来の軸索は視交叉で反対側へ交叉し、耳側網膜線維は同側を進む。  
エ：「一次視覚野の血流支配を概説」は別の論点である。主な要点は「鳥距溝周囲の一次視覚野は主として後大脳動脈領域に属する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0015

視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。  
「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」

ア．視索が担う視野情報

イ．外側膝状体の役割

ウ．対光反射経路と視覚認知経路

エ．視神経管を通過する主要構造

0016

視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「左同名上四分盲。Meyer loopは側頭葉を通る下方網膜由来線維を含み、対側上方視野を表現する。」

ア．視神経管を通過する主要構造

イ．外側膝状体の役割

ウ．視放線の走行と視野対応

エ．対光反射経路と視覚認知経路

答え・解説

正答：イ

ア：「視索が担う視野情報」は別の論点である。主な要点は「左視索には両眼の右半視野情報が集約される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「外側膝状体の役割」の要点を示している。外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。

ウ：「対光反射経路と視覚認知経路」は別の論点である。主な要点は「対光反射線維は主要視覚路から分岐して中脳視蓋前域へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「視神経管を通過する主要構造」は別の論点である。主な要点は「視神経管は視神経と眼動脈が眼窩へ出入りする骨性通路である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「視神経管を通過する主要構造」は別の論点である。主な要点は「視神経管は視神経と眼動脈が眼窩へ出入りする骨性通路である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「視放線の走行と視野対応」の要点を示している。左同名上四分盲。Meyer loopは側頭葉を通る下方網膜由来線維を含み、対側上方視野を表現する。

エ：「対光反射経路と視覚認知経路」は別の論点である。主な要点は「対光反射線維は主要視覚路から分岐して中脳視蓋前域へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0017    視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「一次視覚野は後頭葉内側面の鳥距溝周囲に位置する。」

ア．一次視覚野の位置  
イ．視神経管を通過する主要構造  
ウ．視交叉で交叉する線維  
エ．外側膝状体の役割

答え・解説    正答：ア

ア：この説明は「一次視覚野の位置」の要点を示している。一次視覚野は後頭葉内側面の鳥距溝周囲に位置する。  
イ：「視神経管を通過する主要構造」は別の論点である。主な要点は「視神経管は視神経と眼動脈が眼窩へ出入りする骨性通路である。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「視交叉で交叉する線維」は別の論点である。主な要点は「鼻側網膜由来の軸索は視交叉で反対側へ交叉し、耳側網膜線維は同側を進む。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0018    視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「左視索には両眼の右半視野情報が集約される。」

ア．外側膝状体の役割  
イ．視索が担う視野情報  
ウ．視交叉で交叉する線維  
エ．視神経の構成

答え・解説    正答：イ

ア：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「視索が担う視野情報」の要点を示している。左視索には両眼の右半視野情報が集約される。  
ウ：「視交叉で交叉する線維」は別の論点である。主な要点は「鼻側網膜由来の軸索は視交叉で反対側へ交叉し、耳側網膜線維は同側を進む。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「視神経の構成」は別の論点である。主な要点は「網膜神経節細胞の軸索が視神経乳頭で集合して視神経を形成する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0019

視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：標準

「視神経・視路・視覚中枢」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「対光反射線維は主要視覚路から分岐して中脳視蓋前域へ投射する。」

ア．外側膝状体の役割  
イ．対光反射経路と視覚認知経路  
ウ．視交叉で交叉する線維  
エ．視神経管を通過する主要構造

答え・解説

正答：イ

ア：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「対光反射経路と視覚認知経路」の要点を示している。対光反射線維は主要視覚路から分岐して中脳視蓋前域へ投射する。  
ウ：「視交叉で交叉する線維」は別の論点である。主な要点は「鼻側網膜由来の軸索は視交叉で反対側へ交叉し、耳側網膜線維は同側を進む。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「視神経管を通過する主要構造」は別の論点である。主な要点は「視神経管は視神経と眼動脈が眼窩へ出入りする骨性通路である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0020

視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「視神経管は視神経と眼動脈が眼窩へ出入りする骨性通路である。」

ア．外側膝状体の役割  
イ．視神経管を通過する主要構造  
ウ．視放線の走行と視野対応  
エ．一次視覚野の位置

答え・解説

正答：イ

ア：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「視神経管を通過する主要構造」の要点を示している。視神経管は視神経と眼動脈が眼窩へ出入りする骨性通路である。  
ウ：「視放線の走行と視野対応」は別の論点である。主な要点は「Meyer loopは側頭葉を通る下方網膜由来線維を含み、対側上方視野を表現する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「一次視覚野の位置」は別の論点である。主な要点は「一次視覚野は後頭葉内側面の鳥距溝周囲に位置する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0021

視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「鳥距溝周囲の一次視覚野は主として後大脳動脈領域に属する。」

ア．一次視覚野の血流支配を概説  
イ．視交叉で交叉する線維  
ウ．外側膝状体の役割  
エ．視放線の走行と視野対応

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「一次視覚野の血流支配を概説」の要点を示している。鳥距溝周囲の一次視覚野は主として後大脳動脈領域に属する。  
イ：「視交叉で交叉する線維」は別の論点である。主な要点は「鼻側網膜由来の軸索は視交叉で反対側へ交叉し、耳側網膜線維は同側を進む。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「視放線の走行と視野対応」は別の論点である。主な要点は「Meyer loopは側頭葉を通る下方網膜由来線維を含み、対側上方視野を表現する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0022

視器の構造 > 視神経・視路・視覚中枢 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「両耳側半盲は視交叉中央部で交叉する両眼鼻側網膜線維の障害で典型的にみられる。」

ア．外側膝状体の役割  
イ．視交叉で交叉する線維  
ウ．視野障害から局在  
エ．対光反射経路と視覚認知経路

答え・解説

正答：ウ

ア：「外側膝状体の役割」は別の論点である。主な要点は「外側膝状体は視索から一次視覚野へ至る主要視覚経路の視床中継核である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「視交叉で交叉する線維」は別の論点である。主な要点は「鼻側網膜由来の軸索は視交叉で反対側へ交叉し、耳側網膜線維は同側を進む。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「視野障害から局在」の要点を示している。両耳側半盲は視交叉中央部で交叉する両眼鼻側網膜線維の障害で典型的にみられる。  
エ：「対光反射経路と視覚認知経路」は別の論点である。主な要点は「対光反射線維は主要視覚路から分岐して中脳視蓋前域へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路・視覚中枢」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0023

視器の構造 > 外眼筋・血管系 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。  
「外直筋は外転神経に支配され、眼球を外転させる。」

ア．外転神経支配筋

イ．眼動脈の起始

ウ．網膜内層の主要血流

エ．脈絡膜の静脈還流

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「外転神経支配筋」の要点を示している。外直筋は外転神経に支配され、眼球を外転させる。  
イ：「眼動脈の起始」は別の論点である。主な要点は「眼動脈は通常、内頸動脈から分岐して視神経管を通り眼窩へ入る。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「網膜内層の主要血流」は別の論点である。主な要点は「中心網膜動脈は視神経内を走行して眼内へ入り、主に網膜内層を灌流する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「脈絡膜の静脈還流」は別の論点である。主な要点は「渦静脈は脈絡膜などぶどう膜の静脈血を眼外へ導く主要な還流路である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋・血管系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0024

視器の構造 > 外眼筋・血管系 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。  
「上斜筋は滑車神経によって支配される。」

ア．滑車神経支配筋

イ．眼動脈の起始

ウ．網膜内層の主要血流

エ．脈絡膜の静脈還流

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「滑車神経支配筋」の要点を示している。上斜筋は滑車神経によって支配される。  
イ：「眼動脈の起始」は別の論点である。主な要点は「眼動脈は通常、内頸動脈から分岐して視神経管を通り眼窩へ入る。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「網膜内層の主要血流」は別の論点である。主な要点は「中心網膜動脈は視神経内を走行して眼内へ入り、主に網膜内層を灌流する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「脈絡膜の静脈還流」は別の論点である。主な要点は「渦静脈は脈絡膜などぶどう膜の静脈血を眼外へ導く主要な還流路である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋・血管系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0025    視器の構造 > 外眼筋・血管系 |    難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「上・下・内・外直筋は眼窩尖端部の総腱輪を主な起始とする。」

ア．直筋群の起始  
イ．眼球運動制限から支配神経を推定  
ウ．網膜内層の主要血流  
エ．脈絡膜の静脈還流

答え・解説    正答：ア

ア：この説明は「直筋群の起始」の要点を示している。上・下・内・外直筋は眼窩尖端部の総腱輪を主な起始とする。  
イ：「眼球運動制限から支配神経を推定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は右外転神経に支配されるため、その障害で右眼外転制限が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「網膜内層の主要血流」は別の論点である。主な要点は「中心網膜動脈は視神経内を走行して眼内へ入り、主に網膜内層を灌流する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「脈絡膜の静脈還流」は別の論点である。主な要点は「渦静脈は脈絡膜などぶどう膜の静脈血を眼外へ導く主要な還流路である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋・血管系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0026    視器の構造 > 外眼筋・血管系 |    難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「内直筋は眼球を鼻側へ向ける内転の主動筋である。」

ア．眼球運動制限から支配神経を推定  
イ．脈絡膜の静脈還流  
ウ．外転神経支配筋  
エ．内直筋の主作用

答え・解説    正答：エ

ア：「眼球運動制限から支配神経を推定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は右外転神経に支配されるため、その障害で右眼外転制限が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「脈絡膜の静脈還流」は別の論点である。主な要点は「渦静脈は脈絡膜などぶどう膜の静脈血を眼外へ導く主要な還流路である。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「外転神経支配筋」は別の論点である。主な要点は「外直筋は外転神経に支配され、眼球を外転させる。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「内直筋の主作用」の要点を示している。内直筋は眼球を鼻側へ向ける内転の主動筋である。

総合解説：この問題は「外眼筋・血管系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0027    視器の構造 > 外眼筋・血管系 |    難易度：標準

「外眼筋・血管系」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「眼動脈は通常、内頸動脈から分岐して視神経管を通り眼窩へ入る。」

ア．外転神経支配筋  
イ．眼動脈の起始  
ウ．滑車神経支配筋  
エ．眼球運動制限から支配神経を推定

0028    視器の構造 > 外眼筋・血管系 |    難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「中心網膜動脈は視神経内を走行して眼内へ入り、主に網膜内層を灌流する。」

ア．外転神経支配筋  
イ．網膜内層の主要血流  
ウ．滑車神経支配筋  
エ．眼球運動制限から支配神経を推定

答え・解説    正答：イ

ア：「外転神経支配筋」は別の論点である。主な要点は「外直筋は外転神経に支配され、眼球を外転させる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「眼動脈の起始」の要点を示している。眼動脈は通常、内頸動脈から分岐して視神経管を通り眼窩へ入る。  
ウ：「滑車神経支配筋」は別の論点である。主な要点は「上斜筋は滑車神経によって支配される。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「眼球運動制限から支配神経を推定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は右外転神経に支配されるため、その障害で右眼外転制限が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋・血管系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説    正答：イ

ア：「外転神経支配筋」は別の論点である。主な要点は「外直筋は外転神経に支配され、眼球を外転させる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「網膜内層の主要血流」の要点を示している。中心網膜動脈は視神経内を走行して眼内へ入り、主に網膜内層を灌流する。  
ウ：「滑車神経支配筋」は別の論点である。主な要点は「上斜筋は滑車神経によって支配される。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「眼球運動制限から支配神経を推定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は右外転神経に支配されるため、その障害で右眼外転制限が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋・血管系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0029

視器の構造 > 外眼筋・血管系 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「渦静脈は脈絡膜などぶどう膜の静脈血を眼外へ導く主要な還流路である。」

ア．脈絡膜の静脈還流

イ．外転神経支配筋

ウ．滑車神経支配筋

エ．眼球運動制限から支配神経を推定

0030

視器の構造 > 外眼筋・血管系 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「右外直筋は右外転神経に支配されるため、その障害で右眼外転制限が生じる。」

ア．眼球運動制限から支配神経を推定

イ．直筋群の起始

ウ．網膜内層の主要血流

エ．脈絡膜の静脈還流

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「脈絡膜の静脈還流」の要点を示している。渦静脈は脈絡膜などぶどう膜の静脈血を眼外へ導く主要な還流路である。  
イ：「外転神経支配筋」は別の論点である。主な要点は「外直筋は外転神経に支配され、眼球を外転させる。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「滑車神経支配筋」は別の論点である。主な要点は「上斜筋は滑車神経によって支配される。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「眼球運動制限から支配神経を推定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は右外転神経に支配されるため、その障害で右眼外転制限が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋・血管系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「眼球運動制限から支配神経を推定」の要点を示している。右外直筋は右外転神経に支配されるため、その障害で右眼外転制限が生じる。  
イ：「直筋群の起始」は別の論点である。主な要点は「上・下・内・外直筋は眼窩尖端部の総腱輪を主な起始とする。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「網膜内層の主要血流」は別の論点である。主な要点は「中心網膜動脈は視神経内を走行して眼内へ入り、主に網膜内層を灌流する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「脈絡膜の静脈還流」は別の論点である。主な要点は「渦静脈は脈絡膜などぶどう膜の静脈血を眼外へ導く主要な還流路である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋・血管系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0031

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。  
「サッカードは注視点を短時間で切り替える高速眼球運動である。」

ア．輻湊と開散

イ．網膜内の情報処理細胞

ウ．滑動性追従眼球運動の役割

エ．サッカードの特徴

答え・解説

正答：エ

ア：「輻湊と開散」は別の論点である。主な要点は「近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「滑動性追従眼球運動の役割」は別の論点である。主な要点は「滑動性追従は動く標的に眼球速度を合わせ、標的像を中心窩付近に保持する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「サッカードの特徴」の要点を示している。サッカードは注視点を短時間で切り替える高速眼球運動である。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0032

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「移動する標的像を中心窩付近に保つ。滑動性追従は動く標的に眼球速度を合わせ、標的像を中心窩付近に保持する。」

ア．輻湊と開散

イ．網膜内の情報処理細胞

ウ．滑動性追従眼球運動の役割

エ．副交感神経の眼作用

答え・解説

正答：ウ

ア：「輻湊と開散」は別の論点である。主な要点は「近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「滑動性追従眼球運動の役割」の要点を示している。移動する標的像を中心窩付近に保つ。滑動性追従は動く標的に眼球速度を合わせ、標的像を中心窩付近に保持する。

エ：「副交感神経の眼作用」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感線維は毛様体神経節を経て瞳孔括約筋と毛様体筋に作用する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0033

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、網膜像を安定化する。」

ア．輻湊と開散

イ．網膜内の情報処理細胞

ウ．前庭動眼反射の役割

エ．副交感神経の眼作用

0034

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。」

ア．副交感神経の眼作用

イ．網膜内の情報処理細胞

ウ．輻湊と開散

エ．滑動性追従眼球運動の役割

答え・解説

正答：ウ

ア：「輻湊と開散」は別の論点である。主な要点は「近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「前庭動眼反射の役割」の要点を示している。前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、網膜像を安定化する。

エ：「副交感神経の眼作用」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感線維は毛様体神経節を経て瞳孔括約筋と毛様体筋に作用する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「副交感神経の眼作用」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感線維は毛様体神経節を経て瞳孔括約筋と毛様体筋に作用する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「輻湊と開散」の要点を示している。近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。

エ：「滑動性追従眼球運動の役割」は別の論点である。主な要点は「滑動性追従は動く標的に眼球速度を合わせ、標的像を中心窩付近に保持する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0035

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：標準

「眼球運動系・知覚系・自律神経系」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「杆体は暗所視に特化し、少ない光子にも高感度で応答する。」  
ア．網膜内の情報処理細胞  
イ．杆体と錐体の機能差  
ウ．副交感神経の眼作用  
エ．滑動性追従眼球運動の役割

0036

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「明所での高解像度視と色覚。錐体は明所で機能し、高い空間分解能と色覚を担う。」  
ア．輻湊と開散  
イ．眼交感神経障害の所見を推定  
ウ．錐体の機能  
エ．網膜内の情報処理細胞

答え・解説

正答：イ

ア：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「杆体と錐体の機能差」の要点を示している。杆体は暗所視に特化し、少ない光子にも高感度で応答する。  
ウ：「副交感神経の眼作用」は別の論点である。主な要点は「動眼神経副交感線維は毛様体神経節を経て瞳孔括約筋と毛様体筋に作用する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「滑動性追従眼球運動の役割」は別の論点である。主な要点は「滑動性追従は動く標的に眼球速度を合わせ、標的像を中心窩付近に保持する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「輻湊と開散」は別の論点である。主な要点は「近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「眼交感神経障害の所見を推定」は別の論点である。主な要点は「眼交感神経路障害では虹彩散大筋への入力低下により縮瞳が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「錐体の機能」の要点を示している。明所での高解像度視と色覚。錐体は明所で機能し、高い空間分解能と色覚を担う。  
エ：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0037

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「交感神経の節後線維は虹彩散大筋を刺激し、散瞳を起こす。」

ア．交感神経と瞳孔散大の関係

イ．網膜内の情報処理細胞

ウ．滑動性追従眼球運動の役割

エ．前庭動眼反射の役割

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「交感神経と瞳孔散大の関係」の要点を示している。交感神経の節後線維は虹彩散大筋を刺激し、散瞳を起こす。

イ：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「滑動性追従眼球運動の役割」は別の論点である。主な要点は「滑動性追従は動く標的に眼球速度を合わせ、標的像を中心窩付近に保持する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「前庭動眼反射の役割」は別の論点である。主な要点は「前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、網膜像を安定化する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0038

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「動眼神経副交感線維は毛様体神経節を経て瞳孔括約筋と毛様体筋に作用する。」

ア．輻湊と開散

イ．副交感神経の眼作用

ウ．滑動性追従眼球運動の役割

エ．網膜内の情報処理細胞

答え・解説

正答：イ

ア：「輻湊と開散」は別の論点である。主な要点は「近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「副交感神経の眼作用」の要点を示している。動眼神経副交感線維は毛様体神経節を経て瞳孔括約筋と毛様体筋に作用する。

ウ：「滑動性追従眼球運動の役割」は別の論点である。主な要点は「滑動性追従は動く標的に眼球速度を合わせ、標的像を中心窩付近に保持する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0039

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。  
「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」

ア．網膜内の情報処理細胞

イ．輻湊と開散

ウ．眼交感神経障害の所見を推定

エ．滑動性追従眼球運動の役割

0040

視覚機能の基礎 > 眼球運動系・知覚系・自律神経系 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「眼交感神経路の障害により散瞳筋への入力が低下している。眼交感神経路障害では虹彩散大筋への入力低下により縮瞳が生じる。」

ア．輻湊と開散

イ．網膜内の情報処理細胞

ウ．杆体と錐体の機能差

エ．眼交感神経障害の所見を推定

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「網膜内の情報処理細胞」の要点を示している。網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。

イ：「輻湊と開散」は別の論点である。主な要点は「近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼交感神経障害の所見を推定」は別の論点である。主な要点は「眼交感神経路障害では虹彩散大筋への入力低下により縮瞳が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「滑動性追従眼球運動の役割」は別の論点である。主な要点は「滑動性追従は動く標的に眼球速度を合わせ、標的像を中心窩付近に保持する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「輻湊と開散」は別の論点である。主な要点は「近見時には両眼視線を対象へ合わせるため両眼が内転する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「網膜内の情報処理細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜では光受容体から双極細胞へ信号が伝わり、水平細胞やアマクリン細胞の側方・時間的処理を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「杆体と錐体の機能差」は別の論点である。主な要点は「杆体は暗所視に特化し、少ない光子にも高感度で応答する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼交感神経障害の所見を推定」の要点を示している。眼交感神経路の障害により散瞳筋への入力低下している。眼交感神経路障害では虹彩散大筋への入力低下により縮瞳が生じる。

総合解説：この問題は「眼球運動系・知覚系・自律神経系」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0041

視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「近見では毛様体筋収縮により小帯張力が減り、水晶体の曲率が増して屈折力が高まる。」

ア．近見調節時の水晶体変化  
イ．直接反射と共同反射  
ウ．瞳孔反射異常から求心路障害を推定  
エ．対光反射の求心路と遠心路

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「近見調節時の水晶体変化」の要点を示している。近見では毛様体筋収縮により小帯張力が減り、水晶体の曲率が増して屈折力が高まる。  
イ：「直接反射と共同反射」は別の論点である。主な要点は「片眼への光刺激で反対眼も縮瞳する反応は間接または共同対光反射である。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「瞳孔反射異常から求心路障害を推定」は別の論点である。主な要点は「右眼刺激時だけ両眼反応が弱く、左眼刺激時には両眼が反応するため右求心路障害が示唆される。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「対光反射の求心路と遠心路」は別の論点である。主な要点は「光刺激は視神経を通して中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0042

視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「遠見では毛様体筋が比較的弛緩し、小帯張力で水晶体が扁平化する。」

ア．直接反射と共同反射  
イ．房水流出路  
ウ．瞳孔反射異常から求心路障害を推定  
エ．遠見時の調節状態

答え・解説

正答：エ

ア：「直接反射と共同反射」は別の論点である。主な要点は「片眼への光刺激で反対眼も縮瞳する反応は間接または共同対光反射である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「房水流出路」は別の論点である。主な要点は「通常流出路では房水が線維柱帯を通りシュレム管へ入る。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「瞳孔反射異常から求心路障害を推定」は別の論点である。主な要点は「右眼刺激時だけ両眼反応が弱く、左眼刺激時には両眼が反応するため右求心路障害が示唆される。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「遠見時の調節状態」の要点を示している。遠見では毛様体筋が比較的弛緩し、小帯張力で水晶体が扁平化する。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0043

視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：標準

「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「光刺激は視神経を通して中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ至る。」

ア．近見調節時の水晶体変化

イ．遠見時の調節状態

ウ．対光反射の求心路と遠心路

エ．眼圧と房水動態の関係

0044

視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「間接（共同）対光反射。片眼への光刺激で反対眼も縮瞳する反応は間接または共同対光反射である。」

ア．直接反射と共同反射

イ．近見調節時の水晶体変化

ウ．遠見時の調節状態

エ．房水の流れ

答え・解説

正答：ウ

ア：「近見調節時の水晶体変化」は別の論点である。主な要点は「近見では毛様体筋収縮により小帯張力が減り、水晶体の曲率が増して屈折力が高まる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「遠見時の調節状態」は別の論点である。主な要点は「遠見では毛様体筋が比較的弛緩し、小帯張力で水晶体が扁平化する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「対光反射の求心路と遠心路」の要点を示している。光刺激は視神経を通して中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ至る。

エ：「眼圧と房水動態の関係」は別の論点である。主な要点は「房水流出が低下すると、他条件が同じなら眼圧は上昇方向へ働く。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「直接反射と共同反射」の要点を示している。間接（共同）対光反射。片眼への光刺激で反対眼も縮瞳する反応は間接または共同対光反射である。

イ：「近見調節時の水晶体変化」は別の論点である。主な要点は「近見では毛様体筋収縮により小帯張力が減り、水晶体の曲率が増して屈折力が高まる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「遠見時の調節状態」は別の論点である。主な要点は「遠見では毛様体筋が比較的弛緩し、小帯張力で水晶体が扁平化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「房水の流れ」は別の論点である。主な要点は「房水は毛様体上皮で産生され、後房から瞳孔を経て前房へ入り、主に線維柱帯・シユレム管經由で流出する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0045

視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「房水は毛様体上皮で産生され、後房から瞳孔を経て前房へ入り、主に線維柱帯・シュレム管経由で流出する。」

ア．直接反射と共同反射  
イ．房水の流れ  
ウ．瞳孔反射異常から求心路障害を推定  
エ．対光反射の求心路と遠心路

答え・解説

正答：イ

ア：「直接反射と共同反射」は別の論点である。主な要点は「片眼への光刺激で反対眼も縮瞳する反応は間接または共同対光反射である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「房水の流れ」の要点を示している。房水は毛様体上皮で産生され、後房から瞳孔を経て前房へ入り、主に線維柱帯・シュレム管経由で流出する。  
ウ：「瞳孔反射異常から求心路障害を推定」は別の論点である。主な要点は「右眼刺激時だけ両眼反応が弱く、左眼刺激時には両眼が反応するため右求心路障害が示唆される。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「対光反射の求心路と遠心路」は別の論点である。主な要点は「光刺激は視神経を通して中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0046

視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「通常流出路では房水が線維柱帯を通りシュレム管へ入る。」

ア．遠見時の調節状態  
イ．房水流出路  
ウ．直接反射と共同反射  
エ．涙液の主な役割

答え・解説

正答：イ

ア：「遠見時の調節状態」は別の論点である。主な要点は「遠見では毛様体筋が比較的弛緩し、小帯張力で水晶体が扁平化する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「房水流出路」の要点を示している。通常流出路では房水が線維柱帯を通りシュレム管へ入る。  
ウ：「直接反射と共同反射」は別の論点である。主な要点は「片眼への光刺激で反対眼も縮瞳する反応は間接または共同対光反射である。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「涙液の主な役割」は別の論点である。主な要点は「涙液は角結膜表面を湿潤に保ち、平滑な光学面の維持や洗浄・防御に寄与する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0047    視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「房水流出が低下すると、他条件が同じなら眼圧は上昇方向へ働く。」

ア．瞳孔反射異常から求心路障害を推定

イ．近見調節時の水晶体変化

ウ．直接反射と共同反射

エ．眼圧と房水動態の関係

0048    視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。  
「眼表面の湿潤・光学面の平滑化・防御に寄与する。涙液は角結膜表面を湿潤に保ち、平滑な光学面の維持や洗浄・防御に寄与する。」

ア．房水流出路

イ．直接反射と共同反射

ウ．涙液の主な役割

エ．瞳孔反射異常から求心路障害を推定

答え・解説    正答：エ

ア：「瞳孔反射異常から求心路障害を推定」は別の論点である。主な要点は「右眼刺激時だけ両眼反応が弱く、左眼刺激時には両眼が反応するため右求心路障害が示唆される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「近見調節時の水晶体変化」は別の論点である。主な要点は「近見では毛様体筋収縮により小帯張力が減り、水晶体の曲率が増して屈折力が高まる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「直接反射と共同反射」は別の論点である。主な要点は「片眼への光刺激で反対眼も縮瞳する反応は間接または共同対光反射である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼圧と房水動態の関係」の要点を示している。房水流出が低下すると、他条件が同じなら眼圧は上昇方向へ働く。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説    正答：ウ

ア：「房水流出路」は別の論点である。主な要点は「通常流出路では房水が線維柱帯を通りシュレム管へ入る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「直接反射と共同反射」は別の論点である。主な要点は「片眼への光刺激で反対眼も縮瞳する反応は間接または共同対光反射である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「涙液の主な役割」の要点を示している。眼表面の湿潤・光学面の平滑化・防御に寄与する。涙液は角結膜表面を湿潤に保ち、平滑な光学面の維持や洗浄・防御に寄与する。

エ：「瞳孔反射異常から求心路障害を推定」は別の論点である。主な要点は「右眼刺激時だけ両眼反応が弱く、左眼刺激時には両眼が反応するため右求心路障害が示唆される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0049

視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「涙液は眼表面の液層、房水は後房・前房を循環する眼内液である。」

ア．涙液と房水

イ．遠見時の調節状態

ウ．瞳孔反射異常から求心路障害を推定

エ．対光反射の求心路と遠心路

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「涙液と房水」の要点を示している。涙液は眼表面の液層、房水は後房・前房を循環する眼内液である。

イ：「遠見時の調節状態」は別の論点である。主な要点は「遠見では毛様体筋が比較的弛緩し、小帯張力で水晶体が扁平化する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「瞳孔反射異常から求心路障害を推定」は別の論点である。主な要点は「右眼刺激時だけ両眼反応が弱く、左眼刺激時には両眼が反応するため右求心路障害が示唆される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「対光反射の求心路と遠心路」は別の論点である。主な要点は「光刺激は視神経を通して中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ至る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0050

視覚機能の基礎 > 調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「右眼刺激時だけ両眼反応が弱く、左眼刺激時には両眼が反応するため右求心路障害が示唆される。」

ア．遠見時の調節状態

イ．房水の流れ

ウ．瞳孔反射異常から求心路障害を推定

エ．近見調節時の水晶体変化

答え・解説

正答：ウ

ア：「遠見時の調節状態」は別の論点である。主な要点は「遠見では毛様体筋が比較的弛緩し、小帯張力で水晶体が扁平化する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「房水の流れ」は別の論点である。主な要点は「房水は毛様体上皮で産生され、後房から瞳孔を経て前房へ入り、主に線維柱帯・シュレム管経由で流出する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「瞳孔反射異常から求心路障害を推定」の要点を示している。右眼刺激時だけ両眼反応が弱く、左眼刺激時には両眼が反応するため右求心路障害が示唆される。

エ：「近見調節時の水晶体変化」は別の論点である。主な要点は「近見では毛様体筋収縮により小帯張力が減り、水晶体の曲率が増して屈折力が高まる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「調節・瞳孔・眼圧・房水・涙液」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0051

視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：基礎

「視覚情報処理・視覚伝導」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「光刺激によりcGMP依存性陽イオンチャネルが閉じる方向に働き、光受容体は過分極する。」

ア．主要視覚伝導路を順序立てられる  
イ．光刺激時の光受容体膜電位変化  
ウ．ON経路とOFF経路の役割  
エ．網膜の情報出力細胞

0052

視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「cGMP依存性陽イオンチャネルが比較的開いており、暗電流が流れる。暗所ではcGMP濃度が高く外節の陽イオンチャネルが開き、相対的に脱分極状態を保つ。」

ア．暗電流の概念  
イ．主要視覚伝導路を順序立てられる  
ウ．網膜局在性  
エ．光受容から神経伝達まで

答え・解説

正答：イ

ア：「主要視覚伝導路を順序立てられる」は別の論点である。主な要点は「主要視覚路では網膜から視神経・視交叉・視索を経て外側膝状体に至り、その後は視放線を通して一次視覚野へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「光刺激時の光受容体膜電位変化」の要点を示している。光刺激によりcGMP依存性陽イオンチャネルが閉じる方向に働き、光受容体は過分極する。  
ウ：「ON経路とOFF経路の役割」は別の論点である。主な要点は「ON系とOFF系は局所の輝度増加・減少に対して異なる応答を示す。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「網膜の情報出力細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜神経節細胞の軸索が集合して視神経となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「暗電流の概念」の要点を示している。cGMP依存性陽イオンチャネルが比較的開いており、暗電流が流れる。暗所ではcGMP濃度が高く外節の陽イオンチャネルが開き、相対的に脱分極状態を保つ。  
イ：「主要視覚伝導路を順序立てられる」は別の論点である。主な要点は「主要視覚路では網膜から視神経・視交叉・視索を経て外側膝状体に至り、その後は視放線を通して一次視覚野へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「網膜局在性」は別の論点である。主な要点は「網膜上の隣接関係は外側膝状体や視覚野にも秩序立って投影される。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「光受容から神経伝達まで」は別の論点である。主な要点は「光刺激はcGMP依存性チャネルを閉じ、杆体を過分極させて神経伝達物質放出を減少させる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0053    視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「ON系とOFF系は局所の輝度増加・減少に対して異なる応答を示す。」

ア．網膜局在性  
イ．主要視覚伝導路を順序立てられる  
ウ．光刺激時の光受容体膜電位変化  
エ．ON経路とOFF経路の役割

答え・解説    正答：エ

ア：「網膜局在性」は別の論点である。主な要点は「網膜上の隣接関係は外側膝状体や視覚野にも秩序立って投影される。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「主要視覚伝導路を順序立てられる」は別の論点である。主な要点は「主要視覚路では網膜から視神経・視交叉・視索を経て外側膝状体に至り、その後は視放線を通して一次視覚野へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「光刺激時の光受容体膜電位変化」は別の論点である。主な要点は「光刺激によりcGMP依存性陽イオンチャネルが閉じる方向に働き、光受容体は過分極する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「ON経路とOFF経路の役割」の要点を示している。ON系とOFF系は局所の輝度増加・減少に対して異なる応答を示す。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0054    視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「中心と周辺が逆向きに応答する構造は局所的な輝度差を強調する。」

ア．主要視覚伝導路を順序立てられる  
イ．網膜局在性  
ウ．中心周辺拮抗受容野の意義  
エ．ON経路とOFF経路の役割

答え・解説    正答：ウ

ア：「主要視覚伝導路を順序立てられる」は別の論点である。主な要点は「主要視覚路では網膜から視神経・視交叉・視索を経て外側膝状体に至り、その後は視放線を通して一次視覚野へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「網膜局在性」は別の論点である。主な要点は「網膜上の隣接関係は外側膝状体や視覚野にも秩序立って投影される。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「中心周辺拮抗受容野の意義」の要点を示している。中心と周辺が逆向きに応答する構造は局所的な輝度差を強調する。  
エ：「ON経路とOFF経路の役割」は別の論点である。主な要点は「ON系とOFF系は局所の輝度増加・減少に対して異なる応答を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0055

視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「主要視覚路では網膜から視神経・視交叉・視索を経て外側膝状体に至り、その後は視放線を通して一次視覚野へ投射する。」

ア．光刺激時の光受容体膜電位変化

イ．暗電流の概念

ウ．中心周辺拮抗受容野の意義

エ．主要視覚伝導路を順序立てられる

0056

視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「網膜神経節細胞の軸索が集合して視神経となる。」

ア．網膜の情報出力細胞

イ．主要視覚伝導路を順序立てられる

ウ．光受容から神経伝達まで

エ．光刺激時の光受容体膜電位変化

答え・解説

正答：エ

ア：「光刺激時の光受容体膜電位変化」は別の論点である。主な要点は「光刺激によりcGMP依存性陽イオンチャンネルが閉じる方向に働き、光受容体は過分極する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「暗電流の概念」は別の論点である。主な要点は「暗所ではcGMP濃度が高く外節の陽イオンチャンネルが開き、相対的に脱分極状態を保つ。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「中心周辺拮抗受容野の意義」は別の論点である。主な要点は「中心と周辺が逆向きに応答する構造は局所的な輝度差を強調する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「主要視覚伝導路を順序立てられる」の要点を示している。主要視覚路では網膜から視神経・視交叉・視索を経て外側膝状体に至り、その後は視放線を通して一次視覚野へ投射する。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「網膜の情報出力細胞」の要点を示している。網膜神経節細胞の軸索が集合して視神経となる。  
イ：「主要視覚伝導路を順序立てられる」は別の論点である。主な要点は「主要視覚路では網膜から視神経・視交叉・視索を経て外側膝状体に至り、その後は視放線を通して一次視覚野へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「光受容から神経伝達まで」は別の論点である。主な要点は「光刺激はcGMP依存性チャンネルを閉じ、杆体を過分極させて神経伝達物質放出を減少させる。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「光刺激時の光受容体膜電位変化」は別の論点である。主な要点は「光刺激によりcGMP依存性陽イオンチャンネルが閉じる方向に働き、光受容体は過分極する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0057    視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「網膜上の隣接関係は外側膝状体や視覚野にも秩序立って投影される。」

ア．網膜局在性  
イ．ON経路とOFF経路の役割  
ウ．中心周辺拮抗受容野の意義  
エ．主要視覚伝導路を順序立てられる

0058    視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「腹側視覚経路は後頭葉から側頭葉方向へ連なり、物体の形・色・同定などに関与する。」

ア．網膜局在性  
イ．高次視覚の腹側経路  
ウ．光刺激時の光受容体膜電位変化  
エ．網膜の情報出力細胞

答え・解説    正答：ア

ア：この説明は「網膜局在性」の要点を示している。網膜上の隣接関係は外側膝状体や視覚野にも秩序立って投影される。  
イ：「ON経路とOFF経路の役割」は別の論点である。主な要点は「ON系とOFF系は局所の輝度増加・減少に対して異なる応答を示す。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「中心周辺拮抗受容野の意義」は別の論点である。主な要点は「中心と周辺が逆向きに応答する構造は局所的な輝度差を強調する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「主要視覚伝導路を順序立てられる」は別の論点である。主な要点は「主要視覚路では網膜から視神経・視交叉・視索を経て外側膝状体に至り、その後は視放線を通して一次視覚野へ投射する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説    正答：イ

ア：「網膜局在性」は別の論点である。主な要点は「網膜上の隣接関係は外側膝状体や視覚野にも秩序立って投影される。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「高次視覚の腹側経路」の要点を示している。腹側視覚経路は後頭葉から側頭葉方向へ連なり、物体の形・色・同定などに関与する。  
ウ：「光刺激時の光受容体膜電位変化」は別の論点である。主な要点は「光刺激によりcGMP依存性陽イオンチャネルが閉じる方向に働き、光受容体は過分極する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「網膜の情報出力細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜神経節細胞の軸索が集合して視神経となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0059

視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：標準

「視覚情報処理・視覚伝導」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「部分交叉により各視索には両眼由来の対側半視野情報がまとめられる。」

ア．網膜局在性

イ．光受容から神経伝達まで

ウ．光刺激時の光受容体膜電位変化

エ．後視路の視野統合

答え・解説

正答：エ

ア：「網膜局在性」は別の論点である。主な要点は「網膜上の隣接関係は外側膝状体や視覚野にも秩序立って投影される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「光受容から神経伝達まで」は別の論点である。主な要点は「光刺激はcGMP依存性チャネルを閉じ、杆体を過分極させて神経伝達物質放出を減少させる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「光刺激時の光受容体膜電位変化」は別の論点である。主な要点は「光刺激によりcGMP依存性陽イオンチャネルが閉じる方向に働き、光受容体は過分極する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「後視路の視野統合」の要点を示している。部分交叉により各視索には両眼由来の対側半視野情報がまとめられる。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0060

視覚機能の基礎 > 視覚情報処理・視覚伝導 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「光受容体が過分極し、グルタミン酸放出が減少する。光刺激はcGMP依存性チャネルを閉じ、杆体を過分極させて神経伝達物質放出を減少させる。」

ア．網膜の情報出力細胞

イ．光受容から神経伝達まで

ウ．網膜局在性

エ．後視路の視野統合

答え・解説

正答：イ

ア：「網膜の情報出力細胞」は別の論点である。主な要点は「網膜神経節細胞の軸索が集合して視神経となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「光受容から神経伝達まで」の要点を示している。光受容体が過分極し、グルタミン酸放出が減少する。光刺激はcGMP依存性チャネルを閉じ、杆体を過分極させて神経伝達物質放出を減少させる。

ウ：「網膜局在性」は別の論点である。主な要点は「網膜上の隣接関係は外側膝状体や視覚野にも秩序立って投影される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「後視路の視野統合」は別の論点である。主な要点は「部分交叉により各視索には両眼由来の対側半視野情報がまとめられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視覚情報処理・視覚伝導」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0061

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「校正は既知の基準と比較して測定系のずれを確認し、測定信頼性を維持するために行う。」

ア．光学放射安全の基本概念

イ．検査機器の校正の意義

ウ．正常データベースの扱い

エ．再現性と正確性

0062

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「視力などは照度、視距離、チャート、採点法などに影響されるため、標準化が比較可能性を高める。」

ア．再現性と正確性

イ．光学放射安全の基本概念

ウ．検査条件標準化の意義

エ．接触機器の感染対策

答え・解説

正答：イ

ア：「光学放射安全の基本概念」は別の論点である。主要点は「眼科機器は光放射を眼へ向けるため、不要な照射時間や強度を避けることが基本である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「検査機器の校正の意義」の要点を示している。校正は既知の基準と比較して測定系のずれを確認し、測定信頼性を維持するために行う。

ウ：「正常データベースの扱い」は別の論点である。主要点は「正常データベース比較は有用だが、適用範囲や測定品質、患者背景を考慮して解釈する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「再現性と正確性」は別の論点である。主要点は「ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「再現性と正確性」は別の論点である。主要点は「ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「光学放射安全の基本概念」は別の論点である。主要点は「眼科機器は光放射を眼へ向けるため、不要な照射時間や強度を避けることが基本である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「検査条件標準化の意義」の要点を示している。視力などは照度、視距離、チャート、採点法などに影響されるため、標準化が比較可能性を高める。

エ：「接触機器の感染対策」は別の論点である。主要点は「接触部品は涙液・眼表面に触れるため、交差感染を防ぐ処理が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0063

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「規格は機器の安全性・性能・試験方法などに共通要求を設ける。」

ア．規格の役割

イ．再現性と正確性

ウ．検査前の患者確認の重要性

エ．正常データベースの扱い

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「規格の役割」の要点を示している。規格は機器の安全性・性能・試験方法などに共通要求を設ける。  
イ：「再現性と正確性」は別の論点である。主な要点は「ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「検査前の患者確認の重要性」は別の論点である。主な要点は「散瞳薬を用いる場合は薬剤安全性や患者背景を確認し、検査後の見え方等も説明する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「正常データベースの扱い」は別の論点である。主な要点は「正常データベース比較は有用だが、適用範囲や測定品質、患者背景を考慮して解釈する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0064

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。  
「規格・添付文書・製造者の条件に従い、不要な照射を避けて必要最小限の条件で使用する。眼科機器は光放射を眼へ向けるため、不要な照射時間や強度を避けることが基本である。」

ア．再現性と正確性

イ．検査前の患者確認の重要性

ウ．光学放射安全の基本概念

エ．検査機器の校正の意義

答え・解説

正答：ウ

ア：「再現性と正確性」は別の論点である。主な要点は「ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「検査前の患者確認の重要性」は別の論点である。主な要点は「散瞳薬を用いる場合は薬剤安全性や患者背景を確認し、検査後の見え方等も説明する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「光学放射安全の基本概念」の要点を示している。規格・添付文書・製造者の条件に従い、不要な照射を避けて必要最小限の条件で使用する。眼科機器は光放射を眼へ向けるため、不要な照射時間や強度を避けることが基本である。  
エ：「検査機器の校正の意義」は別の論点である。主な要点は「校正は既知の基準と比較して測定系のずれを確認し、測定信頼性を維持するために行う。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0065

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「接触部品は涙液・眼表面に触れるため、交差感染を防ぐ処理が必要である。」

ア．再現性と正確性

イ．検査前の患者確認の重要性

ウ．接触機器の感染対策

エ．正常データベースの扱い

答え・解説

正答：ウ

ア：「再現性と正確性」は別の論点である。主な要点は「ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「検査前の患者確認の重要性」は別の論点である。主な要点は「散瞳薬を用いる場合は薬剤安全性や患者背景を確認し、検査後の見え方等も説明する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「接触機器の感染対策」の要点を示している。接触部品は涙液・眼表面に触れるため、交差感染を防ぐ処理が必要である。

エ：「正常データベースの扱い」は別の論点である。主な要点は「正常データベース比較は有用だが、適用範囲や測定品質、患者背景を考慮して解釈する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0066

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「アーチファクトは実際の解剖・病変ではなく、取得条件や処理に由来して画像へ現れる偽像・誤差である。」

ア．再現性と正確性

イ．アーチファクトの概念

ウ．検査前の患者確認の重要性

エ．検査条件標準化の意義

答え・解説

正答：イ

ア：「再現性と正確性」は別の論点である。主な要点は「ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「アーチファクトの概念」の要点を示している。アーチファクトは実際の解剖・病変ではなく、取得条件や処理に由来して画像へ現れる偽像・誤差である。

ウ：「検査前の患者確認の重要性」は別の論点である。主な要点は「散瞳薬を用いる場合は薬剤安全性や患者背景を確認し、検査後の見え方等も説明する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「検査条件標準化の意義」は別の論点である。主な要点は「視力などは照度、視距離、チャート、採点法などに影響されるため、標準化が比較可能性を高める。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0067

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：標準

「検査機器の原理・規格・安全管理」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
。「正常データベース比較は有用だが、適用範囲や測定品質、患者背景を考慮して解釈する必要がある。」  
ア．検査前の患者確認の重要性  
イ．正常データベースの扱い  
ウ．接触機器の感染対策  
エ．光学放射安全の基本概念

0068

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「再現性は高いが、正確性に問題がある可能性がある。ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。」  
ア．光学放射安全の基本概念  
イ．接触機器の感染対策  
ウ．再現性と正確性  
エ．アーチファクトの概念

答え・解説

正答：イ

ア：「検査前の患者確認の重要性」は別の論点である。主な要点は「散瞳薬を用いる場合は薬剤安全性や患者背景を確認し、検査後の見え方等も説明する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「正常データベースの扱い」の要点を示している。正常データベース比較は有用だが、適用範囲や測定品質、患者背景を考慮して解釈する必要がある。  
ウ：「接触機器の感染対策」は別の論点である。主な要点は「接触部品は涙液・眼表面に触れるため、交差感染を防ぐ処理が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「光学放射安全の基本概念」は別の論点である。主な要点は「眼科機器は光放射を眼へ向けるため、不要な照射時間や強度を避けることが基本である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「光学放射安全の基本概念」は別の論点である。主な要点は「眼科機器は光放射を眼へ向けるため、不要な照射時間や強度を避けることが基本である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「接触機器の感染対策」は別の論点である。主な要点は「接触部品は涙液・眼表面に触れるため、交差感染を防ぐ処理が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「再現性と正確性」の要点を示している。再現性は高いが、正確性に問題がある可能性がある。ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。  
エ：「アーチファクトの概念」は別の論点である。主な要点は「アーチファクトは実際の解剖・病変ではなく、取得条件や処理に由来して画像へ現れる偽像・誤差である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0069

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「散瞳薬を用いる場合は薬剤安全性や患者背景を確認し、検査後の見え方等も説明する。」

ア．接触機器の感染対策

イ．光学放射安全の基本概念

ウ．正常データベースの扱い

エ．検査前の患者確認の重要性

0070

視能検査機器の基礎 > 検査機器の原理・規格・安全管理 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「異常発熱や異臭は故障や電氣的危険の兆候となり得るため、まず使用を止め患者安全を確保する。」

ア．再現性と正確性

イ．検査前の患者確認の重要性

ウ．検査条件標準化の意義

エ．機器異常時の対応

答え・解説

正答：エ

ア：「接触機器の感染対策」は別の論点である。主な要点は「接触部品は涙液・眼表面に触れるため、交差感染を防ぐ処理が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「光学放射安全の基本概念」は別の論点である。主な要点は「眼科機器は光放射を眼へ向けるため、不要な照射時間や強度を避けることが基本である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「正常データベースの扱い」は別の論点である。主な要点は「正常データベース比較は有用だが、適用範囲や測定品質、患者背景を考慮して解釈する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「検査前の患者確認の重要性」の要点を示している。散瞳薬を用いる場合は薬剤安全性や患者背景を確認し、検査後の見え方等も説明する。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「再現性と正確性」は別の論点である。主な要点は「ばらつきが小さいことは再現性の高さを示すが、系統誤差があれば正確性は低くなり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「検査前の患者確認の重要性」は別の論点である。主な要点は「散瞳薬を用いる場合は薬剤安全性や患者背景を確認し、検査後の見え方等も説明する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「検査条件標準化の意義」は別の論点である。主な要点は「視力などは照度、視距離、チャート、採点法などに影響されるため、標準化が比較可能性を高める。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「機器異常時の対応」の要点を示している。異常発熱や異臭は故障や電氣的危険の兆候となり得るため、まず使用を止め患者安全を確保する。

総合解説：この問題は「検査機器の原理・規格・安全管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0071

視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「視力表は規定された視標と距離・照度・採点法を用いて視力を評価する。」

ア．視力表の役割

イ．Goldmann圧平眼圧計の原理

ウ．シノプトフォアの用途

エ．レンズメータの用途

0072

視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「行間の難易度変化や文字数を規則化し、統計的扱いと経時比較に適している。logMARチャートは視標サイズを対数系列で配置し、尺度を均等化しやすい。」

ア．シノプトフォアの用途

イ．logMAR視力表の特徴

ウ．ケラトメータの用途

エ．自動屈折計の位置づけ

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視力表の役割」の要点を示している。視力表は規定された視標と距離・照度・採点法を用いて視力を評価する。  
イ：「Goldmann圧平眼圧計の原理」は別の論点である。主な要点は「Goldmann圧平眼圧計は角膜を一定面積だけ圧平する力を利用して眼圧を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「シノプトフォアの用途」は別の論点である。主な要点は「シノプトフォアは左右眼へ別々の視標を提示し、眼位や同時視・融像・立体視などを評価する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「レンズメータの用途」は別の論点である。主な要点は「レンズメータは眼鏡レンズの屈折力や円柱軸、プリズム等の確認に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「シノプトフォアの用途」は別の論点である。主な要点は「シノプトフォアは左右眼へ別々の視標を提示し、眼位や同時視・融像・立体視などを評価する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「logMAR視力表の特徴」の要点を示している。行間の難易度変化や文字数を規則化し、統計的扱いと経時比較に適している。logMARチャートは視標サイズを対数系列で配置し、尺度を均等化しやすい。  
ウ：「ケラトメータの用途」は別の論点である。主な要点は「ケラトメータは角膜前面反射を利用して主経線の曲率を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「自動屈折計の位置づけ」は別の論点である。主な要点は「自動屈折計は迅速な他覚値を得られるが、とくに若年者では調節の影響を受け得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0073

視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「検影法は眼底反射の動きを観察して屈折異常を他覚的に推定する。」

ア．Goldmann圧平眼圧計の原理  
イ．logMAR視力表の特徴  
ウ．検影法の目的  
エ．レンズメータの用途

答え・解説

正答：ウ

ア：「Goldmann圧平眼圧計の原理」は別の論点である。主な要点は「Goldmann圧平眼圧計は角膜を一定面積だけ圧平する力を利用して眼圧を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「logMAR視力表の特徴」は別の論点である。主な要点は「logMARチャートは視標サイズを対数系列で配置し、尺度を均等化しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「検影法の目的」の要点を示している。検影法は眼底反射の動きを観察して屈折異常を他覚的に推定する。  
エ：「レンズメータの用途」は別の論点である。主な要点は「レンズメータは眼鏡レンズの屈折力や円柱軸、プリズム等の確認に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0074

視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「自動屈折計は迅速な他覚値を得られるが、とくに若年者では調節の影響を受け得る。」

ア．シノプトフォアの用途  
イ．自動屈折計の位置づけ  
ウ．ケラトメータの用途  
エ．レンズメータの用途

答え・解説

正答：イ

ア：「シノプトフォアの用途」は別の論点である。主な要点は「シノプトフォアは左右眼へ別々の視標を提示し、眼位や同時視・融像・立体視などを評価する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「自動屈折計の位置づけ」の要点を示している。自動屈折計は迅速な他覚値を得られるが、とくに若年者では調節の影響を受け得る。  
ウ：「ケラトメータの用途」は別の論点である。主な要点は「ケラトメータは角膜前面反射を利用して主経線の曲率を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「レンズメータの用途」は別の論点である。主な要点は「レンズメータは眼鏡レンズの屈折力や円柱軸、プリズム等の確認に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0075    視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器 | 難易度：標準

「基本的な視能検査機器」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「ケラトメータは角膜前面反射を利用して主経線の曲率を推定する。」

ア．自動屈折計の位置づけ  
イ．ケラトメータの用途  
ウ．logMAR視力表の特徴  
エ．Goldmann圧平眼圧計の原理

0076    視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「眼鏡レンズの球面度数・円柱度数・軸など。レンズメータは眼鏡レンズの屈折力や円柱軸、プリズム等の確認に用いる。」

ア．Goldmann圧平眼圧計の原理  
イ．レンズメータの用途  
ウ．自動屈折計の位置づけ  
エ．logMAR視力表の特徴

答え・解説    正答：イ

ア：「自動屈折計の位置づけ」は別の論点である。主な要点は「自動屈折計は迅速な他覚値を得られるが、とくに若年者では調節の影響を受け得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「ケラトメータの用途」の要点を示している。ケラトメータは角膜前面反射を利用して主経線の曲率を推定する。  
ウ：「logMAR視力表の特徴」は別の論点である。主な要点は「logMARチャートは視標サイズを対数系列で配置し、尺度を均等化しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「Goldmann圧平眼圧計の原理」は別の論点である。主な要点は「Goldmann圧平眼圧計は角膜を一定面積だけ圧平する力を利用して眼圧を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説    正答：イ

ア：「Goldmann圧平眼圧計の原理」は別の論点である。主な要点は「Goldmann圧平眼圧計は角膜を一定面積だけ圧平する力を利用して眼圧を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「レンズメータの用途」の要点を示している。眼鏡レンズの球面度数・円柱度数・軸など。レンズメータは眼鏡レンズの屈折力や円柱軸、プリズム等の確認に用いる。  
ウ：「自動屈折計の位置づけ」は別の論点である。主な要点は「自動屈折計は迅速な他覚値を得られるが、とくに若年者では調節の影響を受け得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「logMAR視力表の特徴」は別の論点である。主な要点は「logMARチャートは視標サイズを対数系列で配置し、尺度を均等化しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0077

視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「細隙灯はスリット光と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・水晶体などを観察する。」

ア．Goldmann圧平眼圧計の原理  
イ．ケラトメータの用途  
ウ．自動屈折計の位置づけ  
エ．細隙灯顕微鏡の特徴

答え・解説

正答：エ

ア：「Goldmann圧平眼圧計の原理」は別の論点である。主な要点は「Goldmann圧平眼圧計は角膜を一定面積だけ圧平する力を利用して眼圧を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「ケラトメータの用途」は別の論点である。主な要点は「ケラトメータは角膜前面反射を利用して主経線の曲率を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「自動屈折計の位置づけ」は別の論点である。主な要点は「自動屈折計は迅速な他覚値を得られるが、とくに若年者では調節の影響を受け得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「細隙灯顕微鏡の特徴」の要点を示している。細隙灯はスリット光と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・水晶体などを観察する。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0078

視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「Goldmann圧平眼圧計は角膜を一定面積だけ圧平する力を利用して眼圧を推定する。」

ア．シノプトフォアの用途  
イ．レンズメータの用途  
ウ．Goldmann圧平眼圧計の原理  
エ．細隙灯顕微鏡の特徴

答え・解説

正答：ウ

ア：「シノプトフォアの用途」は別の論点である。主な要点は「シノプトフォアは左右眼へ別々の視標を提示し、眼位や同時視・融像・立体視などを評価する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「レンズメータの用途」は別の論点である。主な要点は「レンズメータは眼鏡レンズの屈折力や円柱軸、プリズム等の確認に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「Goldmann圧平眼圧計の原理」の要点を示している。Goldmann圧平眼圧計は角膜を一定面積だけ圧平する力を利用して眼圧を推定する。  
エ：「細隙灯顕微鏡の特徴」は別の論点である。主な要点は「細隙灯はスリット光と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・水晶体などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0079    視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器   |   難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「視野計は空間上の各部位で光刺激を提示し、見える範囲や感度分布を評価する。」

ア．シノプトフォアの用途  
イ．ケラトメータの用途  
ウ．レンズメータの用途  
エ．視野計の役割

答え・解説    正答：エ

ア：「シノプトフォアの用途」は別の論点である。主な要点は「シノプトフォアは左右眼へ別々の視標を提示し、眼位や同時視・融像・立体視などを評価する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「ケラトメータの用途」は別の論点である。主な要点は「ケラトメータは角膜前面反射を利用して主経線の曲率を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「レンズメータの用途」は別の論点である。主な要点は「レンズメータは眼鏡レンズの屈折力や円柱軸、プリズム等の確認に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「視野計の役割」の要点を示している。視野計は空間上の各部位で光刺激を提示し、見える範囲や感度分布を評価する。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0080    視能検査機器の基礎 > 基本的な視能検査機器   |   難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。  
「眼位・両眼視機能・融像などの評価。シノプトフォアは左右眼へ別々の視標を提示し、眼位や同時視・融像・立体視などを評価する。」

ア．Goldmann圧平眼圧計の原理  
イ．シノプトフォアの用途  
ウ．自動屈折計の位置づけ  
エ．logMAR視力表の特徴

答え・解説    正答：イ

ア：「Goldmann圧平眼圧計の原理」は別の論点である。主な要点は「Goldmann圧平眼圧計は角膜を一定面積だけ圧平する力を利用して眼圧を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「シノプトフォアの用途」の要点を示している。眼位・両眼視機能・融像などの評価。シノプトフォアは左右眼へ別々の視標を提示し、眼位や同時視・融像・立体視などを評価する。  
ウ：「自動屈折計の位置づけ」は別の論点である。主な要点は「自動屈折計は迅速な他覚値を得られるが、とくに若年者では調節の影響を受け得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「logMAR視力表の特徴」は別の論点である。主な要点は「logMARチャートは視標サイズを対数系列で配置し、尺度を均等化しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「基本的な視能検査機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0081

視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「OCTは低コヒーレンス干渉法を用いて後方散乱光の光路差情報を深さ情報へ変換する。」

ア．全視野ERGが評価する機能

イ．VEPが評価する機能

ウ．ERGの暗順応・明順応の意義

エ．OCTの基本原理

0082

視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「A-scanは1位置における深さ方向の反射強度情報で、横方向に多数並べるとB-scanを構成できる。」

ア．全視野ERGが評価する機能

イ．OCTのA-scanとB-scan

ウ．VEPが評価する機能

エ．ERGの暗順応・明順応の意義

答え・解説

正答：エ

ア：「全視野ERGが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「VEPが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「VEPはパターンやフラッシュ刺激に対する視覚野周辺の誘発電位を頭皮電極から記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ERGの暗順応・明順応の意義」は別の論点である。主な要点は「暗順応条件は杆体系を含む暗所応答、明順応条件は錐体系応答の評価に用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「OCTの基本原理」の要点を示している。OCTは低コヒーレンス干渉法を用いて後方散乱光の光路差情報を深さ情報へ変換する。

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「全視野ERGが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「OCTのA-scanとB-scan」の要点を示している。A-scanは1位置における深さ方向の反射強度情報で、横方向に多数並べるとB-scanを構成できる。

ウ：「VEPが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「VEPはパターンやフラッシュ刺激に対する視覚野周辺の誘発電位を頭皮電極から記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「ERGの暗順応・明順応の意義」は別の論点である。主な要点は「暗順応条件は杆体系を含む暗所応答、明順応条件は錐体系応答の評価に用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0083

視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：標準

「画像・電気生理・超音波機器」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「OCTは高分解能断層像を得られる一方、媒体混濁・固視不良・解析誤差などで画質や定量値が影響を受ける。」

ア．OCTの利点と限界  
イ．VEPが評価する機能  
ウ．全視野ERGが評価する機能  
エ．ERGの暗順応・明順応の意義

0084

視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「広範囲の網膜機能。全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。」

ア．OCTのA-scanとB-scan  
イ．眼科B-scan超音波の用途  
ウ．OCTの基本原理  
エ．全視野ERGが評価する機能

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「OCTの利点と限界」の要点を示している。OCTは高分解能断層像を得られる一方、媒体混濁・固視不良・解析誤差などで画質や定量値が影響を受ける。  
イ：「VEPが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「VEPはパターンやフラッシュ刺激に対する視覚野周辺の誘発電位を頭皮電極から記録する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「全視野ERGが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「ERGの暗順応・明順応の意義」は別の論点である。主な要点は「暗順応条件は杆体系を含む暗所応答、明順応条件は錐体系応答の評価に用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「OCTのA-scanとB-scan」は別の論点である。主な要点は「A-scanは1位置における深さ方向の反射強度情報で、横方向に多数並べるとB-scanを構成できる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「眼科B-scan超音波の用途」は別の論点である。主な要点は「B-scanは音響反射から二次元断層像を作り、媒体混濁越しに後眼部構造を評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「OCTの基本原理」は別の論点である。主な要点は「OCTは低コヒーレンス干渉法を用いて後方散乱光の光路差情報を深さ情報へ変換する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「全視野ERGが評価する機能」の要点を示している。広範囲の網膜機能。全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0085

視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「暗順応条件は杆体系を含む暗所応答、明順応条件は錐体系応答の評価に用いられる。」

ア．ERGの暗順応・明順応の意義

イ．OCTのA-scanとB-scan

ウ．眼科B-scan超音波の用途

エ．OCTの利点と限界

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「ERGの暗順応・明順応の意義」の要点を示している。暗順応条件は杆体系を含む暗所応答、明順応条件は錐体系応答の評価に用いられる。

イ：「OCTのA-scanとB-scan」は別の論点である。主な要点は「A-scanは1位置における深さ方向の反射強度情報で、横方向に多数並べるとB-scanを構成できる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼科B-scan超音波の用途」は別の論点である。主な要点は「B-scanは音響反射から二次元断層像を作り、媒体混濁越しに後眼部構造を評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「OCTの利点と限界」は別の論点である。主な要点は「OCTは高分解能断層像を得られる一方、媒体混濁・固視不良・解析誤差などで画質や定量値が影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0086

視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「VEPはパターンやフラッシュ刺激に対する視覚野周辺の誘発電位を頭皮電極から記録する。」

ア．VEPが評価する機能

イ．OCTのA-scanとB-scan

ウ．眼科B-scan超音波の用途

エ．OCTの基本原理

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「VEPが評価する機能」の要点を示している。VEPはパターンやフラッシュ刺激に対する視覚野周辺の誘発電位を頭皮電極から記録する。

イ：「OCTのA-scanとB-scan」は別の論点である。主な要点は「A-scanは1位置における深さ方向の反射強度情報で、横方向に多数並べるとB-scanを構成できる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼科B-scan超音波の用途」は別の論点である。主な要点は「B-scanは音響反射から二次元断層像を作り、媒体混濁越しに後眼部構造を評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「OCTの基本原理」は別の論点である。主な要点は「OCTは低コヒーレンス干渉法を用いて後方散乱光の光路差情報を深さ情報へ変換する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0087    視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「パターン反転VEPでは市松模様の白黒が位置を変えず反転する刺激が標準的に用いられる。」

ア．OCTのA-scanとB-scan

イ．眼科B-scan超音波の用途

ウ．パターン反転VEPの刺激条件

エ．全視野ERGが評価する機能

0088    視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「1本の音響経路に沿った反射エコー振幅を距離に対して表示する。A-scanは一方向の超音波反射を時間・距離軸上の振幅として表示し、眼軸長測定などに利用される。」

ア．眼科A-scan超音波の特徴

イ．全視野ERGが評価する機能

ウ．VEPが評価する機能

エ．パターン反転VEPの刺激条件

答え・解説    正答：ウ

ア：「OCTのA-scanとB-scan」は別の論点である。主な要点は「A-scanは1位置における深さ方向の反射強度情報で、横方向に多数並べるとB-scanを構成できる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「眼科B-scan超音波の用途」は別の論点である。主な要点は「B-scanは音響反射から二次元断層像を作り、媒体混濁越しに後眼部構造を評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「パターン反転VEPの刺激条件」の要点を示している。パターン反転VEPでは市松模様の白黒が位置を変えず反転する刺激が標準的に用いられる。

エ：「全視野ERGが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説    正答：ア

ア：この説明は「眼科A-scan超音波の特徴」の要点を示している。1本の音響経路に沿った反射エコー振幅を距離に対して表示する。A-scanは一方向の超音波反射を時間・距離軸上の振幅として表示し、眼軸長測定などに利用される。

イ：「全視野ERGが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「VEPが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「VEPはパターンやフラッシュ刺激に対する視覚野周辺の誘発電位を頭皮電極から記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「パターン反転VEPの刺激条件」は別の論点である。主な要点は「パターン反転VEPでは市松模様の白黒が位置を変えず反転する刺激が標準的に用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0089

視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「B-scanは音響反射から二次元断層像を作り、媒体混濁越しに後眼部構造を評価できる。」

ア．全視野ERGが評価する機能

イ．VEPが評価する機能

ウ．ERGの暗順応・明順応の意義

エ．眼科B-scan超音波の用途

答え・解説

正答：エ

ア：「全視野ERGが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「VEPが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「VEPはパターンやフラッシュ刺激に対する視覚野周辺の誘発電位を頭皮電極から記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ERGの暗順応・明順応の意義」は別の論点である。主な要点は「暗順応条件は杆体系を含む暗所応答、明順応条件は錐体系応答の評価に用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼科B-scan超音波の用途」の要点を示している。B-scanは音響反射から二次元断層像を作り、媒体混濁越しに後眼部構造を評価できる。

---

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0090

視能検査機器の基礎 > 画像・電気生理・超音波機器 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「眼底カメラは眼底所見を客観的画像として保存し、経時比較や遠隔評価などに役立つ。」

ア．全視野ERGが評価する機能

イ．VEPが評価する機能

ウ．眼底写真の特徴

エ．OCTのA-scanとB-scan

答え・解説

正答：ウ

ア：「全視野ERGが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGは広い網膜をびまん性に光刺激し、網膜全体の電気生理応答を記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「VEPが評価する機能」は別の論点である。主な要点は「VEPはパターンやフラッシュ刺激に対する視覚野周辺の誘発電位を頭皮電極から記録する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「眼底写真の特徴」の要点を示している。眼底カメラは眼底所見を客観的画像として保存し、経時比較や遠隔評価などに役立つ。

エ：「OCTのA-scanとB-scan」は別の論点である。主な要点は「A-scanは1位置における深さ方向の反射強度情報で、横方向に多数並べるとB-scanを構成できる。」で、今回の説明とは一致しない。

---

総合解説：この問題は「画像・電気生理・超音波機器」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0091

眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：標準

「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。

「抗ムスカリン薬はムスカリン受容体を遮断し、瞳孔括約筋と毛様体筋の作用を抑制するため散瞳・調節麻痺を生じる。」

ア．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点  
イ．局所麻酔薬の基本機序  
ウ．抗ムスカリン薬の散瞳・調節麻痺作用  
エ．β遮断薬の眼圧下降機序

0092

眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「α1受容体刺激により虹彩散大筋を収縮させる。フェニレフリンは交感神経α1受容体を刺激し、虹彩散大筋を収縮させて散瞳させる。」

ア．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点  
イ．交感神経刺激薬の散瞳作用  
ウ．プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序  
エ．局所麻酔薬の基本機序

答え・解説

正答：ウ

ア：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「局所麻酔薬の基本機序」は別の論点である。主な要点は「局所麻酔薬は電位依存性Naチャンネルを遮断し、神経膜の脱分極と活動電位伝導を抑制する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「抗ムスカリン薬の散瞳・調節麻痺作用」の要点を示している。抗ムスカリン薬はムスカリン受容体を遮断し、瞳孔括約筋と毛様体筋の作用を抑制するため散瞳・調節麻痺を生じる。

エ：「β遮断薬の眼圧下降機序」は別の論点である。主な要点は「β遮断薬は毛様体での房水産生を抑え、眼圧を低下させる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「交感神経刺激薬の散瞳作用」の要点を示している。α1受容体刺激により虹彩散大筋を収縮させる。フェニレフリンは交感神経α1受容体を刺激し、虹彩散大筋を収縮させて散瞳させる。

ウ：「プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬は主としてぶどう膜強膜流出路などの房水流出を増やし、眼圧を下降させる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「局所麻酔薬の基本機序」は別の論点である。主な要点は「局所麻酔薬は電位依存性Naチャンネルを遮断し、神経膜の脱分極と活動電位伝導を抑制する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0093

眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「ピロカルピンはムスカリン受容体作動薬で、瞳孔括約筋と毛様体筋を収縮させる。」

ア．コリン作動薬の眼作用  
イ．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点  
ウ．局所麻酔薬の基本機序  
エ．眼科局所麻酔薬の安全な使用

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「コリン作動薬の眼作用」の要点を示している。ピロカルピンはムスカリン受容体作動薬で、瞳孔括約筋と毛様体筋を収縮させる。  
イ：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「局所麻酔薬の基本機序」は別の論点である。主な要点は「局所麻酔薬は電位依存性Naチャンネルを遮断し、神経膜の脱分極と活動電位伝導を抑制する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「眼科局所麻酔薬の安全な使用」は別の論点である。主な要点は「眼科局所麻酔薬は短時間の検査や処置に有用だが、反復乱用は角膜上皮障害、潰瘍、穿孔などの重篤な毒性につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0094

眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「β遮断薬は毛様体での房水産生を抑え、眼圧を低下させる。」

ア．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点  
イ．点眼薬の全身作用を考慮  
ウ．眼科局所麻酔薬の安全な使用  
エ．β遮断薬の眼圧下降機序

答え・解説

正答：エ

ア：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「点眼薬の全身作用を考慮」は別の論点である。主な要点は「非選択的β遮断点眼薬は鼻淚管などを介して全身吸収されると、気管支収縮や徐脈を起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「眼科局所麻酔薬の安全な使用」は別の論点である。主な要点は「眼科局所麻酔薬は短時間の検査や処置に有用だが、反復乱用は角膜上皮障害、潰瘍、穿孔などの重篤な毒性につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「β遮断薬の眼圧下降機序」の要点を示している。β遮断薬は毛様体での房水産生を抑え、眼圧を低下させる。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0095

眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：応用

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。

「プロスタグランジン関連薬は主としてぶどう膜強膜流出路などの房水流出を増やし、眼圧を下降させる。」

ア．プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序

イ．点眼薬の全身作用を考慮

ウ．眼科局所麻酔薬の安全な使用

エ．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点

0096

眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。

「毛様体での房水産生を減少させる。炭酸脱水酵素阻害により毛様体での重炭酸生成などが抑制され、房水産生が低下する。」

ア．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点

イ．局所麻酔薬の基本機序

ウ．プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序

エ．炭酸脱水酵素阻害薬の作用

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序」の要点を示している。プロスタグランジン関連薬は主としてぶどう膜強膜流出路などの房水流出を増やし、眼圧を下降させる。

イ：「点眼薬の全身作用を考慮」は別の論点である。主な要点は「非選択的β遮断点眼薬は鼻涙管などを介して全身吸収されると、気管支収縮や徐脈を起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼科局所麻酔薬の安全な使用」は別の論点である。主な要点は「眼科局所麻酔薬は短時間の検査や処置に有用だが、反復乱用は角膜上皮障害、潰瘍、穿孔などの重篤な毒性につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「局所麻酔薬の基本機序」は別の論点である。主な要点は「局所麻酔薬は電位依存性Naチャンネルを遮断し、神経膜の脱分極と活動電位伝導を抑制する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬は主としてぶどう膜強膜流出路などの房水流出を増やし、眼圧を下降させる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「炭酸脱水酵素阻害薬の作用」の要点を示している。毛様体での房水産生を減少させる。炭酸脱水酵素阻害により毛様体での重炭酸生成などが抑制され、房水産生が低下する。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0097

眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なものはどれか。  
「局所麻酔薬は電位依存性Naチャンネルを遮断し、神経膜の脱分極と活動電位伝導を抑制する。」

ア．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点

イ．抗ムスカリン薬の散瞳・調節麻痺作用

ウ．交感神経刺激薬の散瞳作用

エ．局所麻酔薬の基本機序

0098

眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なものはどれか。  
「眼科局所麻酔薬は短時間の検査や処置に有用だが、反復乱用は角膜上皮障害、潰瘍、穿孔などの重篤な毒性につながり得る。」

ア．プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序

イ．眼科局所麻酔薬の安全な使用

ウ．β遮断薬の眼圧下降機序

エ．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点

答え・解説

正答：エ

ア：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「抗ムスカリン薬の散瞳・調節麻痺作用」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン薬はムスカリン受容体を遮断し、瞳孔括約筋と毛様体筋の作用を抑制するため散瞳・調節麻痺を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「交感神経刺激薬の散瞳作用」は別の論点である。主な要点は「フェニレフリンは交感神経α1受容体を刺激し、虹彩散大筋を収縮させて散瞳させる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「局所麻酔薬の基本機序」の要点を示している。局所麻酔薬は電位依存性Naチャンネルを遮断し、神経膜の脱分極と活動電位伝導を抑制する。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬は主としてぶどう膜強膜流出路などの房水流出を増やし、眼圧を下降させる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「眼科局所麻酔薬の安全な使用」の要点を示している。眼科局所麻酔薬は短時間の検査や処置に有用だが、反復乱用は角膜上皮障害、潰瘍、穿孔などの重篤な毒性につながり得る。

ウ：「β遮断薬の眼圧下降機序」は別の論点である。主な要点は「β遮断薬は毛様体での房水産生を抑え、眼圧を低下させる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0099    眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：応用

「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」  
ア．交感神経刺激薬の散瞳作用  
イ．炭酸脱水酵素阻害薬の作用  
ウ．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点  
エ．β遮断薬の眼圧下降機序

0100    眼薬理学 > 自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「非選択的β遮断薬。非選択的β遮断点眼薬は鼻涙管などを介して全身吸収されると、気管支収縮や徐脈を起こし得る。」  
ア．プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序  
イ．β遮断薬の眼圧下降機序  
ウ．副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点  
エ．点眼薬の全身作用を考慮

答え・解説    正答：ウ

ア：「交感神経刺激薬の散瞳作用」は別の論点である。主な要点は「フェニレフリンは交感神経α1受容体を刺激し、虹彩散大筋を収縮させて散瞳させる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「炭酸脱水酵素阻害薬の作用」は別の論点である。主な要点は「炭酸脱水酵素阻害により毛様体での重碳酸生成などが抑制され、房水産生が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」の要点を示している。ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。  
エ：「β遮断薬の眼圧下降機序」は別の論点である。主な要点は「β遮断薬は毛様体での房水産生を抑え、眼圧を低下させる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説    正答：エ

ア：「プロスタグランジン関連薬の眼圧下降機序」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬は主としてぶどう膜強膜流出路などの房水流出を増やし、眼圧を下降させる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「β遮断薬の眼圧下降機序」は別の論点である。主な要点は「β遮断薬は毛様体での房水産生を抑え、眼圧を低下させる。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「副腎皮質ステロイド点眼の主な注意点」は別の論点である。主な要点は「ステロイド点眼では眼圧上昇、白内障、感染増悪や創傷治癒遅延などに注意が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「点眼薬の全身作用を考慮」の要点を示している。非選択的β遮断薬。非選択的β遮断点眼薬は鼻涙管などを介して全身吸収されると、気管支収縮や徐脈を起こし得る。

総合解説：この問題は「自律神経薬・点眼薬・局所麻酔薬」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0101

眼薬理学 > 投与法・薬物の眼内移行 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「点眼後の薬液は涙液で希釈され、瞬目や鼻涙管排出により眼表面から速やかに失われる。」

ア．結膜嚢容量と過量点眼の関係

イ．眼軟膏の特徴

ウ．点眼後の薬物消失経路

エ．角膜透過の薬物学的特徴

0102

眼薬理学 > 投与法・薬物の眼内移行 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「点眼後の閉瞼や涙点・涙嚢部圧迫は鼻涙管への流出を減らし、鼻粘膜からの全身吸収低減に役立つ。」

ア．角膜透過の薬物学的特徴

イ．眼軟膏の特徴

ウ．点眼後の全身吸収を減らす方法

エ．結膜嚢容量と過量点眼の関係

答え・解説

正答：ウ

ア：「結膜嚢容量と過量点眼の関係」は別の論点である。主な要点は「眼表面が保持できる液量には限界があり、過量は頬への流出や鼻涙管排出を増やし、全身吸収につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「眼軟膏の特徴」は別の論点である。主な要点は「眼軟膏は液体点眼より長く眼表面に留まりやすい一方、油性基剤などにより一時的な霧視を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「点眼後の薬物消失経路」の要点を示している。点眼後の薬液は涙液で希釈され、瞬目や鼻涙管排出により眼表面から速やかに失われる。

エ：「角膜透過の薬物学的特徴」は別の論点である。主な要点は「角膜は脂質性の上皮と水分に富む実質などからなり、薬物の親水性・脂溶性のバランスが透過性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「投与法・薬物の眼内移行」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「角膜透過の薬物学的特徴」は別の論点である。主な要点は「角膜は脂質性の上皮と水分に富む実質などからなり、薬物の親水性・脂溶性のバランスが透過性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「眼軟膏の特徴」は別の論点である。主な要点は「眼軟膏は液体点眼より長く眼表面に留まりやすい一方、油性基剤などにより一時的な霧視を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「点眼後の全身吸収を減らす方法」の要点を示している。点眼後の閉瞼や涙点・涙嚢部圧迫は鼻涙管への流出を減らし、鼻粘膜からの全身吸収低減に役立つ。

エ：「結膜嚢容量と過量点眼の関係」は別の論点である。主な要点は「眼表面が保持できる液量には限界があり、過量は頬への流出や鼻涙管排出を増やし、全身吸収につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「投与法・薬物の眼内移行」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0103

眼薬理学 > 投与方法・薬物の眼内移行 | 難易度：応用

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「眼表面が保持できる液量には限界があり、過量は頬への流出や鼻涙管排出を増やし、全身吸収につながり得る。」

ア．点眼後の全身吸収を減らす方法

イ．眼軟膏の特徴

ウ．結膜嚢容量と過量点眼の関係

エ．角膜透過の薬物学的特徴

0104

眼薬理学 > 投与方法・薬物の眼内移行 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。  
「角膜上皮は親水性薬物の通過を制限し、実質は強い脂溶性薬物の通過を制限し得る。角膜は脂質性の上皮と水分に富む実質などからなり、薬物の親水性・脂溶性のバランスが透過性に影響する。」

ア．点眼後の全身吸収を減らす方法

イ．点眼と全身投与の違い

ウ．点眼薬の投与間隔を考慮

エ．角膜透過の薬物学的特徴

答え・解説

正答：ウ

ア：「点眼後の全身吸収を減らす方法」は別の論点である。主な要点は「点眼後の閉瞼や涙点・涙嚢部圧迫は鼻涙管への流出を減らし、鼻粘膜からの全身吸収低減に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「眼軟膏の特徴」は別の論点である。主な要点は「眼軟膏は液体点眼より長く眼表面に留まりやすい一方、油性基剤などにより一時的な霧視を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「結膜嚢容量と過量点眼の関係」の要点を示している。眼表面が保持できる液量には限界があり、過量は頬への流出や鼻涙管排出を増やし、全身吸収につながり得る。  
エ：「角膜透過の薬物学的特徴」は別の論点である。主な要点は「角膜は脂質性の上皮と水分に富む実質などからなり、薬物の親水性・脂溶性のバランスが透過性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「投与方法・薬物の眼内移行」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「点眼後の全身吸収を減らす方法」は別の論点である。主な要点は「点眼後の閉瞼や涙点・涙嚢部圧迫は鼻涙管への流出を減らし、鼻粘膜からの全身吸収低減に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「点眼と全身投与の違い」は別の論点である。主な要点は「点眼は局所投与として有用だが、涙液排出や角膜バリアにより眼内移行率は限られ、一部は全身吸収される。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「点眼薬の投与間隔を考慮」は別の論点である。主な要点は「複数点眼を直後に重ねると結膜嚢からあふれたり先の薬液を希釈・排出したりするため、製剤指示に従って間隔を空ける。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「角膜透過の薬物学的特徴」の要点を示している。角膜上皮は親水性薬物の通過を制限し、実質は強い脂溶性薬物の通過を制限し得る。角膜は脂質性の上皮と水分に富む実質などからなり、薬物の親水性・脂溶性のバランスが透過性に影響する。

総合解説：この問題は「投与方法・薬物の眼内移行」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0105

眼薬理学 > 投与法・薬物の眼内移行 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「点眼は局所投与として有用だが、涙液排出や角膜バリアにより眼内移行率は限られ、一部は全身吸収される。」

ア．角膜透過の薬物学的特徴

イ．結膜嚢容量と過量点眼の関係

ウ．点眼と全身投与の違い

エ．眼軟膏の特徴

0106

眼薬理学 > 投与法・薬物の眼内移行 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「複数点眼を直後に重ねると結膜嚢からあふれたり先の薬液を希釈・排出したりするため、製剤指示に従って間隔を空ける。」

ア．角膜透過の薬物学的特徴

イ．結膜嚢容量と過量点眼の関係

ウ．点眼薬の投与間隔を考慮

エ．眼軟膏の特徴

答え・解説

正答：ウ

ア：「角膜透過の薬物学的特徴」は別の論点である。主な要点は「角膜は脂質性の上皮と水分に富む実質などからなり、薬物の親水性・脂溶性のバランスが透過性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「結膜嚢容量と過量点眼の関係」は別の論点である。主な要点は「眼表面が保持できる液量には限界があり、過量は頬への流出や鼻涙管排出を増やし、全身吸収につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「点眼と全身投与の違い」の要点を示している。点眼は局所投与として有用だが、涙液排出や角膜バリアにより眼内移行率は限られ、一部は全身吸収される。

エ：「眼軟膏の特徴」は別の論点である。主な要点は「眼軟膏は液体点眼より長く眼表面に留まりやすい一方、油性基剤などにより一時的な霧視を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「投与法・薬物の眼内移行」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「角膜透過の薬物学的特徴」は別の論点である。主な要点は「角膜は脂質性の上皮と水分に富む実質などからなり、薬物の親水性・脂溶性のバランスが透過性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「結膜嚢容量と過量点眼の関係」は別の論点である。主な要点は「眼表面が保持できる液量には限界があり、過量は頬への流出や鼻涙管排出を増やし、全身吸収につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「点眼薬の投与間隔を考慮」の要点を示している。複数点眼を直後に重ねると結膜嚢からあふれたり先の薬液を希釈・排出したりするため、製剤指示に従って間隔を空ける。

エ：「眼軟膏の特徴」は別の論点である。主な要点は「眼軟膏は液体点眼より長く眼表面に留まりやすい一方、油性基剤などにより一時的な霧視を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「投与法・薬物の眼内移行」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0107

眼薬理学 > 投与法・薬物の眼内移行 | 難易度：標準

「投与法・薬物の眼内移行」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「眼軟膏は液体点眼より長く眼表面に留まりやすい一方、油性基剤などにより一時的な霧視を生じ得る。」  
ア．結膜嚢容量と過量点眼の関係  
イ．眼軟膏の特徴  
ウ．点眼後の全身吸収を減らす方法  
エ．点眼後の薬物消失経路

0108

眼薬理学 > 投与法・薬物の眼内移行 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「容器先端の汚染を防ぎ、感染リスクを減らすため。点眼容器先端が眼表面や睫毛に触れると微生物汚染の原因となり、反復使用時の感染リスクが高まる。」  
ア．点眼時の接触汚染  
イ．角膜透過の薬物学的特徴  
ウ．結膜嚢容量と過量点眼の関係  
エ．眼軟膏の特徴

答え・解説

正答：イ

ア：「結膜嚢容量と過量点眼の関係」は別の論点である。主な要点は「眼表面が保持できる液量には限界があり、過量は頬への流出や鼻涙管排出を増やし、全身吸収につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「眼軟膏の特徴」の要点を示している。眼軟膏は液体点眼より長く眼表面に留まりやすい一方、油性基剤などにより一時的な霧視を生じ得る。  
ウ：「点眼後の全身吸収を減らす方法」は別の論点である。主な要点は「点眼後の閉瞼や涙点・涙嚢部圧迫は鼻涙管への流出を減らし、鼻粘膜からの全身吸収低減に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「点眼後の薬物消失経路」は別の論点である。主な要点は「点眼後の薬液は涙液で希釈され、瞬目や鼻涙管排出により眼表面から速やかに失われる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「投与法・薬物の眼内移行」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「点眼時の接触汚染」の要点を示している。容器先端の汚染を防ぎ、感染リスクを減らすため。点眼容器先端が眼表面や睫毛に触れると微生物汚染の原因となり、反復使用時の感染リスクが高まる。  
イ：「角膜透過の薬物学的特徴」は別の論点である。主な要点は「角膜は脂質性の上皮と水分に富む実質などからなり、薬物の親水性・脂溶性のバランスが透過性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「結膜嚢容量と過量点眼の関係」は別の論点である。主な要点は「眼表面が保持できる液量には限界があり、過量は頬への流出や鼻涙管排出を増やし、全身吸収につながり得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「眼軟膏の特徴」は別の論点である。主な要点は「眼軟膏は液体点眼より長く眼表面に留まりやすい一方、油性基剤などにより一時的な霧視を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「投与法・薬物の眼内移行」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0109

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。

「抗ムスカリン作用が全身に及ぶと口渇、頻脈、皮膚乾燥、紅潮、中枢神経症状などが起こり得る。」

ア．感染経路別予防策

イ．院内感染アウトブレイク時の対応

ウ．アナフィラキシーの初期認識が

エ．抗コリン薬の全身副作用

0110

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。

「β遮断薬は全身吸収されると心拍数低下や気管支収縮を起こし得る。」

ア．感染経路別予防策

イ．アナフィラキシーの初期認識が

ウ．β遮断点眼薬の全身副作用

エ．院内感染アウトブレイク時の対応

答え・解説

正答：エ

ア：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「院内感染アウトブレイク時の対応」は別の論点である。主な要点は「アウトブレイクが疑われる場合は情報共有、サーベイランス、感染経路の検討、対策の評価・強化が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「アナフィラキシーの初期認識が」は別の論点である。主な要点は「皮膚症状に呼吸器・循環器症状が急速に加わる場合はアナフィラキシーを疑い、迅速な緊急対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「抗コリン薬の全身副作用」の要点を示している。抗ムスカリン作用が全身に及ぶと口渇、頻脈、皮膚乾燥、紅潮、中枢神経症状などが起こり得る。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「アナフィラキシーの初期認識が」は別の論点である。主な要点は「皮膚症状に呼吸器・循環器症状が急速に加わる場合はアナフィラキシーを疑い、迅速な緊急対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「β遮断点眼薬の全身副作用」の要点を示している。β遮断薬は全身吸収されると心拍数低下や気管支収縮を起こし得る。

エ：「院内感染アウトブレイク時の対応」は別の論点である。主な要点は「アウトブレイクが疑われる場合は情報共有、サーベイランス、感染経路の検討、対策の評価・強化が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0111

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。

「プロスタグランジン関連薬では結膜充血、虹彩色素沈着、睫毛の長さ・太さの変化などが知られる。」

ア．感染経路別予防策

イ．プロスタグランジン関連薬の局所副作用

ウ．接触機器の患者間処理

エ．標準予防策の対象

0112

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。

「アナフィラキシーを疑い、直ちに緊急対応を開始する。皮膚症状に呼吸器・循環器症状が急速に加わる場合はアナフィラキシーを疑い、迅速な緊急対応が必要である。」

ア．感染経路別予防策

イ．β遮断点眼薬の全身副作用

ウ．アナフィラキシーの初期認識が

エ．抗コリン薬の全身副作用

答え・解説

正答：イ

ア：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「プロスタグランジン関連薬の局所副作用」の要点を示している。プロスタグランジン関連薬では結膜充血、虹彩色素沈着、睫毛の長さ・太さの変化などが知られる。

ウ：「接触機器の患者間処理」は別の論点である。主な要点は「眼表面へ接触する器具は患者間で適切に再処理し、微生物伝播を防ぐ必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「標準予防策の対象」は別の論点である。主な要点は「標準予防策はすべての患者に適用し、血液・体液・分泌物等への曝露リスクに応じて手指衛生や個人防護具を用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「β遮断点眼薬の全身副作用」は別の論点である。主な要点は「β遮断薬は全身吸収されると心拍数低下や気管支収縮を起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「アナフィラキシーの初期認識が」の要点を示している。アナフィラキシーを疑い、直ちに緊急対応を開始する。皮膚症状に呼吸器・循環器症状が急速に加わる場合はアナフィラキシーを疑い、迅速な緊急対応が必要である。

エ：「抗コリン薬の全身副作用」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン作用が全身に及ぶと口渇、頻脈、皮膚乾燥、紅潮、中枢神経症状などが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0113

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「薬剤関連有害事象が疑われる場合は追加曝露を避け、患者状態を評価し、医師へ迅速に報告することが基本である。」

ア．薬物有害事象発生時の初動

イ．感染経路別予防策

ウ．標準予防策の対象

エ．接触機器の患者間処理

0114

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「標準予防策はすべての患者に適用し、血液・体液・分泌物等への曝露リスクに応じて手指衛生や個人防護具を用いる。」

ア．プロスタグランジン関連薬の局所副作用

イ．β遮断点眼薬の全身副作用

ウ．標準予防策の対象

エ．抗コリン薬の全身副作用

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「薬物有害事象発生時の初動」の要点を示している。薬剤関連有害事象が疑われる場合は追加曝露を避け、患者状態を評価し、医師へ迅速に報告することが基本である。

イ：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「標準予防策の対象」は別の論点である。主な要点は「標準予防策はすべての患者に適用し、血液・体液・分泌物等への曝露リスクに応じて手指衛生や個人防護具を用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「接触機器の患者間処理」は別の論点である。主な要点は「眼表面へ接触する器具は患者間で適切に再処理し、微生物伝播を防ぐ必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「プロスタグランジン関連薬の局所副作用」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬では結膜充血、虹彩色素沈着、睫毛の長さ・太さの変化などが知られる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「β遮断点眼薬の全身副作用」は別の論点である。主な要点は「β遮断薬は全身吸収されると心拍数低下や気管支収縮を起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「標準予防策の対象」の要点を示している。標準予防策はすべての患者に適用し、血液・体液・分泌物等への曝露リスクに応じて手指衛生や個人防護具を用いる。

エ：「抗コリン薬の全身副作用」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン作用が全身に及ぶと口渇、頻脈、皮膚乾燥、紅潮、中枢神経症状などが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0115

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：基礎

「副作用・中毒・ショック・院内感染」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」

ア．抗コリン薬の全身副作用

イ．感染経路別予防策

ウ．プロスタグランジン関連薬の局所副作用

エ．アナフィラキシーの初期認識が

0116

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「適切なタイミングでの手指衛生。医療関連感染の予防では、患者接触や処置の前後などで適切に手指衛生を行うことが基本である。」

ア．手指衛生の意義

イ．感染経路別予防策

ウ．プロスタグランジン関連薬の局所副作用

エ．アナフィラキシーの初期認識が

答え・解説

正答：イ

ア：「抗コリン薬の全身副作用」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン作用が全身に及ぶと口渇、頻脈、皮膚乾燥、紅潮、中枢神経症状などが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「感染経路別予防策」の要点を示している。感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。

ウ：「プロスタグランジン関連薬の局所副作用」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬では結膜充血、虹彩色素沈着、睫毛の長さ・太さの変化などが知られる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「アナフィラキシーの初期認識が」は別の論点である。主な要点は「皮膚症状に呼吸器・循環器症状が急速に加わる場合はアナフィラキシーを疑い、迅速な緊急対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「手指衛生の意義」の要点を示している。適切なタイミングでの手指衛生。医療関連感染の予防では、患者接触や処置の前後などで適切に手指衛生を行うことが基本である。

イ：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「プロスタグランジン関連薬の局所副作用」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬では結膜充血、虹彩色素沈着、睫毛の長さ・太さの変化などが知られる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「アナフィラキシーの初期認識が」は別の論点である。主な要点は「皮膚症状に呼吸器・循環器症状が急速に加わる場合はアナフィラキシーを疑い、迅速な緊急対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0117

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「眼表面へ接触する器具は患者間で適切に再処理し、微生物伝播を防ぐ必要がある。」

ア．感染経路別予防策

イ．プロスタグランジン関連薬の局所副作用

ウ．抗コリン薬の全身副作用

エ．接触機器の患者間処理

0118

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「アウトブレイクが疑われる場合は情報共有、サーベイランス、感染経路の検討、対策の評価・強化が必要である。」

ア．抗コリン薬の全身副作用

イ．院内感染アウトブレイク時の対応

ウ．プロスタグランジン関連薬の局所副作用

エ．β遮断点眼薬の全身副作用

答え・解説

正答：エ

ア：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「プロスタグランジン関連薬の局所副作用」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬では結膜充血、虹彩色素沈着、睫毛の長さ・太さの変化などが知られる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「抗コリン薬の全身副作用」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン作用が全身に及ぶと口渇、頻脈、皮膚乾燥、紅潮、中枢神経症状などが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「接触機器の患者間処理」の要点を示している。眼表面へ接触する器具は患者間で適切に再処理し、微生物伝播を防ぐ必要がある。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「抗コリン薬の全身副作用」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン作用が全身に及ぶと口渇、頻脈、皮膚乾燥、紅潮、中枢神経症状などが起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「院内感染アウトブレイク時の対応」の要点を示している。アウトブレイクが疑われる場合は情報共有、サーベイランス、感染経路の検討、対策の評価・強化が必要である。

ウ：「プロスタグランジン関連薬の局所副作用」は別の論点である。主な要点は「プロスタグランジン関連薬では結膜充血、虹彩色素沈着、睫毛の長さ・太さの変化などが知られる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「β遮断点眼薬の全身副作用」は別の論点である。主な要点は「β遮断薬は全身吸収されると心拍数低下や気管支収縮を起こし得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0119

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。  
「点眼容器は使用時に睫毛や眼表面へ近接し、接触汚染を起こす可能性があるため、患者間共用には感染管理上の注意が必要である。」

ア．感染経路別予防策

イ．アナフィラキシーの初期認識が

ウ．院内感染アウトブレイク時の対応

エ．点眼容器の共用リスク

0120

眼薬理学 > 副作用・中毒・ショック・院内感染 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「副作用歴を記録・共有し、再投与前に医師と確認する。重大な薬剤副作用歴は再曝露回避のために記録し、医療チームで共有して投与可否を確認する必要がある。」

ア．感染経路別予防策

イ．標準予防策の対象

ウ．院内感染アウトブレイク時の対応

エ．薬剤副作用の記録・共有の意義

答え・解説

正答：エ

ア：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「アナフィラキシーの初期認識が」は別の論点である。主な要点は「皮膚症状に呼吸器・循環器症状が急速に加わる場合はアナフィラキシーを疑い、迅速な緊急対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「院内感染アウトブレイク時の対応」は別の論点である。主な要点は「アウトブレイクが疑われる場合は情報共有、サーベイランス、感染経路の検討、対策の評価・強化が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「点眼容器の共用リスク」の要点を示している。点眼容器は使用時に睫毛や眼表面へ近接し、接触汚染を起こす可能性があるため、患者間共用には感染管理上の注意が必要である。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「感染経路別予防策」は別の論点である。主な要点は「感染経路別予防策は病原体の伝播様式に応じて接触・飛沫・空気予防策を追加する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「標準予防策の対象」は別の論点である。主な要点は「標準予防策はすべての患者に適用し、血液・体液・分泌物等への曝露リスクに応じて手指衛生や個人防護具を用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「院内感染アウトブレイク時の対応」は別の論点である。主な要点は「アウトブレイクが疑われる場合は情報共有、サーベイランス、感染経路の検討、対策の評価・強化が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「薬剤副作用の記録・共有の意義」の要点を示している。副作用歴を記録・共有し、再投与前に医師と確認する。重大な薬剤副作用歴は再曝露回避のために記録し、医療チームで共有して投与可否を確認する必要がある。

総合解説：この問題は「副作用・中毒・ショック・院内感染」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0121

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「視能訓練士法第1条は、資格を定め、業務の適正な運用を規律し、医療の普及・向上に寄与することを目的としている。」

ア．名称使用制限

イ．具体的指示を要する行為の考え方

ウ．公的医療保険制度の基本

エ．視能訓練士法の目的

0122

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「法第2条は、厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下に両眼視機能回復のための矯正訓練と必要な検査を行う者と定義する。」

ア．名称使用制限

イ．公的医療保険制度の基本

ウ．守秘義務の範囲

エ．視能訓練士の法的定義

答え・解説

正答：エ

ア：「名称使用制限」は別の論点である。主な要点は「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「具体的指示を要する行為の考え方」は別の論点である。主な要点は「法第18条は、一定の矯正訓練・検査について医師の具体的な指示を要求している。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「公的医療保険制度の基本」は別の論点である。主な要点は「日本では国民皆保険制度の下で、公的医療保険を通じて必要な医療へアクセスする仕組みが構築されている。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視能訓練士法の目的」の要点を示している。視能訓練士法第1条は、資格を定め、業務の適正な運用を規律し、医療の普及・向上に寄与することを目的としている。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「名称使用制限」は別の論点である。主な要点は「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「公的医療保険制度の基本」は別の論点である。主な要点は「日本では国民皆保険制度の下で、公的医療保険を通じて必要な医療へアクセスする仕組みが構築されている。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「守秘義務の範囲」は別の論点である。主な要点は「法第19条は、正当な理由なく業務上知り得た秘密を漏らすことを禁じ、視能訓練士でなくなった後も同様としている。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視能訓練士の法的定義」の要点を示している。法第2条は、厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下に両眼視機能回復のための矯正訓練と必要な検査を行う者と定義する。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0123

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：標準

「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。

「法第17条は、視能訓練士が医師の指示の下に眼科に係る検査を行うことを業とできる旨を定めている。」

ア．名称使用制限

イ．国家試験と免許の関係

ウ．公的医療保険制度の基本

エ．視能訓練士の眼科検査業務

0124

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「厚生労働省令で定める特定の矯正訓練・検査は、医師の具体的指示を受けて行う必要がある。法第18条は、一定の矯正訓練・検査について医師の具体的な指示を要求している。」

ア．名称使用制限

イ．具体的指示を要する行為の考え方

ウ．他職種連携の法的義務

エ．守秘義務の範囲

答え・解説

正答：エ

ア：「名称使用制限」は別の論点である。主な要点は「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「国家試験と免許の関係」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士法第3条により、国家試験合格だけでなく厚生労働大臣の免許を受ける必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「公的医療保険制度の基本」は別の論点である。主な要点は「日本では国民皆保険制度の下で、公的医療保険を通じて必要な医療へアクセスする仕組みが構築されている。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視能訓練士の眼科検査業務」の要点を示している。法第17条は、視能訓練士が医師の指示の下に眼科に係る検査を行うことを業とできる旨を定めている。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「名称使用制限」は別の論点である。主な要点は「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「具体的指示を要する行為の考え方」の要点を示している。厚生労働省令で定める特定の矯正訓練・検査は、医師の具体的指示を受けて行う必要がある。法第18条は、一定の矯正訓練・検査について医師の具体的な指示を要求している。

ウ：「他職種連携の法的義務」は別の論点である。主な要点は「法第18条の2は、業務に当たり医師その他の医療関係者との緊密な連携を図る努力義務を定めている。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「守秘義務の範囲」は別の論点である。主な要点は「法第19条は、正当な理由なく業務上知り得た秘密を漏らすことを禁じ、視能訓練士でなくなった後も同様としている。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0125

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「法第18条の2は、業務に当たり医師その他の医療関係者との緊密な連携を図る努力義務を定めている。」

ア．他職種連携の法的義務

イ．名称使用制限

ウ．具体的指示を要する行為の考え方

エ．国家試験と免許の関係

0126

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「法第19条は、正当な理由なく業務上知り得た秘密を漏らすことを禁じ、視能訓練士でなくなった後も同様としている。」

ア．守秘義務の範囲

イ．名称使用制限

ウ．具体的指示を要する行為の考え方

エ．視能訓練士の眼科検査業務

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「他職種連携の法的義務」の要点を示している。法第18条の2は、業務に当たり医師その他の医療関係者との緊密な連携を図る努力義務を定めている。

イ：「名称使用制限」は別の論点である。主な要点は「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「具体的指示を要する行為の考え方」は別の論点である。主な要点は「法第18条は、一定の矯正訓練・検査について医師の具体的な指示を要求している。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「国家試験と免許の関係」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士法第3条により、国家試験合格だけでなく厚生労働大臣の免許を受ける必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「守秘義務の範囲」の要点を示している。法第19条は、正当な理由なく業務上知り得た秘密を漏らすことを禁じ、視能訓練士でなくなった後も同様としている。

イ：「名称使用制限」は別の論点である。主な要点は「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「具体的指示を要する行為の考え方」は別の論点である。主な要点は「法第18条は、一定の矯正訓練・検査について医師の具体的な指示を要求している。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「視能訓練士の眼科検査業務」は別の論点である。主な要点は「法第17条は、視能訓練士が医師の指示の下に眼科に係る検査を行うことを業とできる旨を定めている。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0127

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：応用

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」

ア．名称使用制限

イ．他職種連携の法的義務

ウ．地域包括ケアの構成

エ．視能訓練士の眼科検査業務

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「名称使用制限」の要点を示している。法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。

イ：「他職種連携の法的義務」は別の論点である。主な要点は「法第18条の2は、業務に当たり医師その他の医療関係者との緊密な連携を図る努力義務を定めている。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「地域包括ケアの構成」は別の論点である。主な要点は「地域包括ケアは、可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体化する考え方である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「視能訓練士の眼科検査業務」は別の論点である。主な要点は「法第17条は、視能訓練士が医師の指示の下に眼科に係る検査を行うことを業とできる旨を定めている。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0128

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「視能訓練士国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受ける。視能訓練士法第3条により、国家試験合格だけでなく厚生労働大臣の免許を受ける必要がある。」

ア．国家試験と免許の関係

イ．名称使用制限

ウ．視能訓練士の眼科検査業務

エ．他職種連携の法的義務

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「国家試験と免許の関係」の要点を示している。視能訓練士国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受ける。視能訓練士法第3条により、国家試験合格だけでなく厚生労働大臣の免許を受ける必要がある。

イ：「名称使用制限」は別の論点である。主な要点は「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視能訓練士の眼科検査業務」は別の論点である。主な要点は「法第17条は、視能訓練士が医師の指示の下に眼科に係る検査を行うことを業とできる旨を定めている。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「他職種連携の法的義務」は別の論点である。主な要点は「法第18条の2は、業務に当たり医師その他の医療関係者との緊密な連携を図る努力義務を定めている。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0129

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「日本では国民皆保険制度の下で、公的医療保険を通じて必要な医療へアクセスする仕組みが構築されている。」

ア：視能訓練士の眼科検査業務

イ：国家試験と免許の関係

ウ：視能訓練士の法的定義

エ：公的医療保険制度の基本

0130

保健医療福祉・法規・安全 > 保健医療福祉制度・視能訓練士法等 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「地域包括ケアは、可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体化する考え方である。」

ア：名称使用制限

イ：地域包括ケアの構成

ウ：具体的指示を要する行為の考え方

エ：視能訓練士の眼科検査業務

答え・解説

正答：エ

ア：「視能訓練士の眼科検査業務」は別の論点である。主な要点は「法第17条は、視能訓練士が医師の指示の下に眼科に係る検査を行うことを業とできる旨を定めている。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「国家試験と免許の関係」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士法第3条により、国家試験合格だけでなく厚生労働大臣の免許を受ける必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視能訓練士の法的定義」は別の論点である。主な要点は「法第2条は、厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下に両眼視機能回復のための矯正訓練と必要な検査を行う者と定義する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「公的医療保険制度の基本」の要点を示している。日本では国民皆保険制度の下で、公的医療保険を通じて必要な医療へアクセスする仕組みが構築されている。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「名称使用制限」は別の論点である。主な要点は「法第20条は、無資格者による視能訓練士または紛らわしい名称の使用を禁止している。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「地域包括ケアの構成」の要点を示している。地域包括ケアは、可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体化する考え方である。

ウ：「具体的指示を要する行為の考え方」は別の論点である。主な要点は「法第18条は、一定の矯正訓練・検査について医師の具体的な指示を要求している。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「視能訓練士の眼科検査業務」は別の論点である。主な要点は「法第17条は、視能訓練士が医師の指示の下に眼科に係る検査を行うことを業とできる旨を定めている。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「保健医療福祉制度・視能訓練士法等」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0131

保健医療福祉・法規・安全 > 公衆衛生・疫学・健康指標 | 難易度：基礎

「公衆衛生・疫学・健康指標」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「罹患率は、一定期間に対象集団で新たに発生した症例の頻度を表す。」

ア．健康日本21（第三次）の基本方向  
イ．人口動態統計の対象  
ウ．罹患率の概念  
エ．年齢調整の意義

答え・解説

正答：ウ

ア：「健康日本21（第三次）の基本方向」は別の論点である。主な要点は「健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「人口動態統計の対象」は別の論点である。主な要点は「人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「罹患率の概念」の要点を示している。罹患率は、一定期間に対象集団で新たに発生した症例の頻度を表す。  
エ：「年齢調整の意義」は別の論点である。主な要点は「死亡率は年齢構成に強く影響されるため、標準人口を用いて年齢構成差を調整すると地域間・時期間比較がしやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「公衆衛生・疫学・健康指標」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0132

保健医療福祉・法規・安全 > 公衆衛生・疫学・健康指標 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「有病率（prevalence）。有病率は、ある時点または一定期間に存在する疾病・健康状態の全症例の割合を示す。」

ア．健康日本21（第三次）の基本方向  
イ．有病率の概念  
ウ．人口動態統計の対象  
エ．年齢調整の意義

答え・解説

正答：イ

ア：「健康日本21（第三次）の基本方向」は別の論点である。主な要点は「健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「有病率の概念」の要点を示している。有病率（prevalence）。有病率は、ある時点または一定期間に存在する疾病・健康状態の全症例の割合を示す。  
ウ：「人口動態統計の対象」は別の論点である。主な要点は「人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「年齢調整の意義」は別の論点である。主な要点は「死亡率は年齢構成に強く影響されるため、標準人口を用いて年齢構成差を調整すると地域間・時期間比較がしやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「公衆衛生・疫学・健康指標」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0133

保健医療福祉・法規・安全 > 公衆衛生・疫学・健康指標 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「有病率は新規発生だけでなく疾病がどのくらい長く存在するかに影響されるため、罹病期間延長で高くなりやすい。」

ア．有病率と疾病期間の関係

イ．健康日本21（第三次）の基本方向

ウ．人口動態統計の対象

エ．年齢調整の意義

0134

保健医療福祉・法規・安全 > 公衆衛生・疫学・健康指標 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「感度は真に疾患がある者を陽性として検出できる割合を示す。」

ア．健康日本21（第三次）の基本方向

イ．感度の意味

ウ．有病率と疾病期間の関係

エ．人口動態統計の対象

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「有病率と疾病期間の関係」の要点を示している。有病率は新規発生だけでなく疾病がどのくらい長く存在するかに影響されるため、罹病期間延長で高くなりやすい。

イ：「健康日本21（第三次）の基本方向」は別の論点である。主な要点は「健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「人口動態統計の対象」は別の論点である。主な要点は「人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「年齢調整の意義」は別の論点である。主な要点は「死亡率は年齢構成に強く影響されるため、標準人口を用いて年齢構成差を調整すると地域間・時期間比較がしやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「公衆衛生・疫学・健康指標」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「健康日本21（第三次）の基本方向」は別の論点である。主な要点は「健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「感度の意味」の要点を示している。感度は真に疾患がある者を陽性として検出できる割合を示す。

ウ：「有病率と疾病期間の関係」は別の論点である。主な要点は「有病率は新規発生だけでなく疾病がどのくらい長く存在するかに影響されるため、罹病期間延長で高くなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「人口動態統計の対象」は別の論点である。主な要点は「人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「公衆衛生・疫学・健康指標」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0135

保健医療福祉・法規・安全 > 公衆衛生・疫学・健康指標 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。  
「特異度は真に疾患がない者を陰性として正しく分類できる割合を表す。」

ア．特異度の意味

イ．健康日本21（第三次）の基本方向

ウ．人口動態統計の対象

エ．有病率と疾病期間の関係

0136

保健医療福祉・法規・安全 > 公衆衛生・疫学・健康指標 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「年齢構成の違いによる影響を小さくして比較するため。死亡率は年齢構成に強く影響されるため、標準人口を用いて年齢構成差を調整すると地域間・時期間比較がしやすくなる。」

ア．健康日本21（第三次）の基本方向

イ．年齢調整の意義

ウ．人口動態統計の対象

エ．有病率と疾病期間の関係

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「特異度の意味」の要点を示している。特異度は真に疾患がない者を陰性として正しく分類できる割合を表す。  
イ：「健康日本21（第三次）の基本方向」は別の論点である。主な要点は「健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「人口動態統計の対象」は別の論点である。主な要点は「人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「有病率と疾病期間の関係」は別の論点である。主な要点は「有病率は新規発生だけでなく疾病がどのくらい長く存在するかに影響されるため、罹病期間延長で高くなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「公衆衛生・疫学・健康指標」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「健康日本21（第三次）の基本方向」は別の論点である。主な要点は「健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「年齢調整の意義」の要点を示している。年齢構成の違いによる影響を小さくして比較するため。死亡率は年齢構成に強く影響されるため、標準人口を用いて年齢構成差を調整すると地域間・時期間比較がしやすくなる。  
ウ：「人口動態統計の対象」は別の論点である。主な要点は「人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「有病率と疾病期間の関係」は別の論点である。主な要点は「有病率は新規発生だけでなく疾病がどのくらい長く存在するかに影響されるため、罹病期間延長で高くなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「公衆衛生・疫学・健康指標」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0137

保健医療福祉・法規・安全 > 公衆衛生・疫学・健康指標 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。  
「人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。」

ア．健康日本21（第三次）の基本方向  
イ．年齢調整の意義  
ウ．有病率と疾病期間の関係  
エ．人口動態統計の対象

0138

保健医療福祉・法規・安全 > 公衆衛生・疫学・健康指標 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。  
「健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。」

ア．健康日本21（第三次）の基本方向  
イ．有病率と疾病期間の関係  
ウ．人口動態統計の対象  
エ．罹患率の概念

答え・解説

正答：エ

ア：「健康日本21（第三次）の基本方向」は別の論点である。主な要点は「健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「年齢調整の意義」は別の論点である。主な要点は「死亡率は年齢構成に強く影響されるため、標準人口を用いて年齢構成差を調整すると地域間・時期間比較がしやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「有病率と疾病期間の関係」は別の論点である。主な要点は「有病率は新規発生だけでなく疾病がどのくらい長く存在するかに影響されるため、罹患期間延長で高くなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「人口動態統計の対象」の要点を示している。人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。

総合解説：この問題は「公衆衛生・疫学・健康指標」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「健康日本21（第三次）の基本方向」の要点を示している。健康日本21（第三次）は健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、個人の行動・健康状態と社会環境の質の向上を進める。  
イ：「有病率と疾病期間の関係」は別の論点である。主な要点は「有病率は新規発生だけでなく疾病がどのくらい長く存在するかに影響されるため、罹患期間延長で高くなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「人口動態統計の対象」は別の論点である。主な要点は「人口動態統計は出生、死亡、死産、婚姻、離婚などの人口変動事象を継続的に把握する基幹統計である。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「罹患率の概念」は別の論点である。主な要点は「罹患率は、一定期間に対象集団で新たに発生した症例の頻度を表す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「公衆衛生・疫学・健康指標」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0139

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：基礎

「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。」  
ア．多職種連携における情報共有  
イ．ICFの生活機能概念  
ウ．役割分担と責任共有  
エ．守秘義務とチーム内共有を両立

0140

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「照明や表示方法など周囲の物理的環境はICFの環境因子に含まれ、生活機能を促進または阻害し得る。」  
ア．ICFの環境因子  
イ．多職種連携における情報共有  
ウ．役割分担と責任共有  
エ．守秘義務とチーム内共有を両立

答え・解説

正答：イ

ア：「多職種連携における情報共有」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士は医師その他の医療関係者と緊密に連携し、適正な医療の確保に努めることが求められる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「ICFの生活機能概念」の要点を示している。ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。  
ウ：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「守秘義務とチーム内共有を両立」は別の論点である。主な要点は「守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「ICFの環境因子」の要点を示している。照明や表示方法など周囲の物理的環境はICFの環境因子に含まれ、生活機能を促進または阻害し得る。  
イ：「多職種連携における情報共有」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士は医師その他の医療関係者と緊密に連携し、適正な医療の確保に努めることが求められる。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「守秘義務とチーム内共有を両立」は別の論点である。主な要点は「守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0141

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「リハビリテーションでは機能改善だけでなく、本人が望む活動・社会参加を実現する視点が重要である。」

ア．守秘義務とチーム内共有を両立  
イ．リハビリテーションの目標設定  
ウ．多職種連携における情報共有  
エ．役割分担と責任共有

0142

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「説明と理解、自由意思に基づく選択がインフォームド・コンセントの基本である。」

ア．多職種連携における情報共有  
イ．役割分担と責任共有  
ウ．インフォームド・コンセントの基本  
エ．ICFの生活機能概念

答え・解説

正答：イ

ア：「守秘義務とチーム内共有を両立」は別の論点である。主な要点は「守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：この説明は「リハビリテーションの目標設定」の要点を示している。リハビリテーションでは機能改善だけでなく、本人が望む活動・社会参加を実現する視点が重要である。  
ウ：「多職種連携における情報共有」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士は医師その他の医療関係者と緊密に連携し、適正な医療の確保に努めることが求められる。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「多職種連携における情報共有」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士は医師その他の医療関係者と緊密に連携し、適正な医療の確保に努めることが求められる。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：この説明は「インフォームド・コンセントの基本」の要点を示している。説明と理解、自由意思に基づく選択がインフォームド・コンセントの基本である。  
エ：「ICFの生活機能概念」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0143

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。  
「患者の自律性を尊重しつつ、理解不足がないか確認し、医学的影響を説明してチームで対応することが適切である。」

ア．守秘義務とチーム内共有を両立

イ．役割分担と責任共有

ウ．多職種連携における情報共有

エ．検査拒否時の倫理的対応

0144

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。  
「所見を正確に記録し、速やかに医師へ報告し、必要に応じ他職種と共有する。視能訓練士は医師その他の医療関係者と緊密に連携し、適正な医療の確保に努めることが求められる。」

ア．ICFの生活機能概念

イ．ICFの環境因子

ウ．患者誤認防止の基本

エ．多職種連携における情報共有

答え・解説

正答：エ

ア：「守秘義務とチーム内共有を両立」は別の論点である。主な要点は「守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「多職種連携における情報共有」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士は医師その他の医療関係者と緊密に連携し、適正な医療の確保に努めることが求められる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「検査拒否時の倫理的対応」の要点を示している。患者の自律性を尊重しつつ、理解不足がないか確認し、医学的影響を説明してチームで対応することが適切である。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「ICFの生活機能概念」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「ICFの環境因子」は別の論点である。主な要点は「照明や表示方法など周囲の物理的環境はICFの環境因子に含まれ、生活機能を促進または阻害し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「患者誤認防止の基本」は別の論点である。主な要点は「患者誤認防止には、単一情報ではなく複数の識別子を用いて患者と検査内容を照合することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「多職種連携における情報共有」の要点を示している。所見を正確に記録し、速やかに医師へ報告し、必要に応じ他職種と共有する。視能訓練士は医師その他の医療関係者と緊密に連携し、適正な医療の確保に努めることが求められる。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0145

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「患者誤認防止には、単一情報ではなく複数の識別子を用いて患者と検査内容を照合することが重要である。」

ア．守秘義務とチーム内共有を両立

イ．役割分担と責任共有

ウ．多職種連携における情報共有

エ．患者誤認防止の基本

0146

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「医療安全では、ヒヤリ・ハットや事故事例を収集・分析し、構造的な原因を把握して再発防止策へつなげる。」

ア．守秘義務とチーム内共有を両立

イ．役割分担と責任共有

ウ．ヒヤリ・ハット報告の目的

エ．ICFの生活機能概念

答え・解説

正答：エ

ア：「守秘義務とチーム内共有を両立」は別の論点である。主な要点は「守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「多職種連携における情報共有」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士は医師その他の医療関係者と緊密に連携し、適正な医療の確保に努めることが求められる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「患者誤認防止の基本」の要点を示している。患者誤認防止には、単一情報ではなく複数の識別子を用いて患者と検査内容を照合することが重要である。

---

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「守秘義務とチーム内共有を両立」は別の論点である。主な要点は「守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「ヒヤリ・ハット報告の目的」の要点を示している。医療安全では、ヒヤリ・ハットや事故事例を収集・分析し、構造的な原因を把握して再発防止策へつなげる。

エ：「ICFの生活機能概念」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

---

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0147

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：標準

「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。  
「散瞳後は一時的に見えにくさや羞明が増すことがあり、患者の移動能力と環境に応じた安全支援が必要である。」

ア．転倒リスクのある患者への安全配慮

イ．守秘義務とチーム内共有を両立

ウ．役割分担と責任共有

エ．ICFの生活機能概念

0148

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。  
「固視不良の程度や検査中の状況、再検査の必要性を具体的に記録・共有する。結果値だけでなく測定品質や患者協力状況を共有することで、次の医療者が結果を適切に解釈できる。」

ア．役割分担と責任共有

イ．ICFの環境因子

ウ．ICFの生活機能概念

エ．検査結果の申し送りを適切に行える

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「転倒リスクのある患者への安全配慮」の要点を示している。散瞳後は一時的に見えにくさや羞明が増すことがあり、患者の移動能力と環境に応じた安全支援が必要である。

イ：「守秘義務とチーム内共有を両立」は別の論点である。主な要点は「守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「ICFの生活機能概念」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「役割分担と責任共有」は別の論点である。主な要点は「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「ICFの環境因子」は別の論点である。主な要点は「照明や表示方法など周囲の物理的環境はICFの環境因子に含まれ、生活機能を促進または阻害し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ICFの生活機能概念」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「検査結果の申し送りを適切に行える」の要点を示している。固視不良の程度や検査中の状況、再検査の必要性を具体的に記録・共有する。結果値だけでなく測定品質や患者協力状況を共有することで、次の医療者が結果を適切に解釈できる。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0149

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。  
「多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。」

ア．役割分担と責任共有  
イ．ICFの生活機能概念  
ウ．ICFの環境因子  
エ．ヒヤリ・ハット報告の目的

0150

保健医療福祉・法規・安全 > リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。  
「守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。」

ア．ICFの生活機能概念  
イ．ICFの環境因子  
ウ．ヒヤリ・ハット報告の目的  
エ．守秘義務とチーム内共有を両立

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「役割分担と責任共有」の要点を示している。多職種連携では各専門職が専門性を発揮しつつ、患者の目標や安全情報を共有して支援を統合する。  
イ：「ICFの生活機能概念」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「ICFの環境因子」は別の論点である。主な要点は「照明や表示方法など周囲の物理的環境はICFの環境因子に含まれ、生活機能を促進または阻害し得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：「ヒヤリ・ハット報告の目的」は別の論点である。主な要点は「医療安全では、ヒヤリ・ハットや事故事例を収集・分析し、構造的な原因を把握して再発防止策へつなげる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「ICFの生活機能概念」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加という相互に関連する領域で捉える。」で、今回の説明とは一致しない。  
イ：「ICFの環境因子」は別の論点である。主な要点は「照明や表示方法など周囲の物理的環境はICFの環境因子に含まれ、生活機能を促進または阻害し得る。」で、今回の説明とは一致しない。  
ウ：「ヒヤリ・ハット報告の目的」は別の論点である。主な要点は「医療安全では、ヒヤリ・ハットや事故事例を収集・分析し、構造的な原因を把握して再発防止策へつなげる。」で、今回の説明とは一致しない。  
エ：この説明は「守秘義務とチーム内共有を両立」の要点を示している。守秘義務を守りつつ、適正な医療に必要な情報は関係職種間で適切に共有することが重要である。

総合解説：この問題は「リハビリ理念・倫理・医療安全・多職種連携」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08